

56-3・4次隊

協力隊派遣受入希望調査表

昭和56年4月

NO. 2

加工・保守操作・土木建築部門

国際協力事業団

青年海外協力隊事務局

J/333.9
31
56-1

15912



56年度第3・4次隊協力隊員派遣受入希望調査表

目 次

No 2

職 種	要請数	国 名	調査表の有無	ページ	職 種	要請数	国 名	調査表の有無	ページ
201 陶 磁 器	1	フィリピン	○	75	322 電子機器	3	マラウイ	○	122
	1	フィリピン	○	76		1	マラウイ	○	123
	1	フィリピン	○	77		1	西サモア	○	124
	1	タイ	○	78		1	フィリピン	○	125
	1	スリ・ランカ	○	79		1	フィリピン	○	126
210 竹 工 芸	1	モロッコ	○	80		1	フィリピン	○	127
	1	フィリピン	○	81		1	フィリピン	○	128
211 木 工	1	スリ・ランカ	○	82		1	フィリピン	○	129
	1	モロッコ	○	83		1	マレイシア	○	130
220 板 金 造	2	タンザニア	○	84		1	マレイシア	○	131
	1	コスタリカ	○	85		1	マレイシア	○	132
221 鋳 造	1	ガーナ	○	86		1	マレイシア	○	133
	1	フィリピン	○	87		1	マレイシア	○	134
222 鍛 造	1	ホンジュラス	○	88		1	バングラデシュ	○	135
	1	タンザニア	○	89		1	スリ・ランカ	○	136
223 溶 接	1	タイ	○	90	1	チュニジア	○	137	
	1	バングラデシュ	○	91	1	モロッコ	○	138	
225 冶 金	1	シリア	○	92	1	モロッコ	○	139	
	1	タンザニア	○	93	1	ケニア	○	140	
230 織 維 製 品	1	ザンビア	○	94	1	ケニア	○	141	
	1	ネパール	○	95	1	ザンビア	○	142	
23002 織 維 染 色	1	ネパール	○	96	1	ザンビア	○	143	
240 印 刷	1	タンザニア	○	97	1	ザンビア	○	144	
25001 プラスチック成形	1	ホンジュラス	○	98	1	ガナ	○	145	
30103 地 質 調 査 機 械	1	ホンジュラス	○	99	1	リベリア	○	146	
311 工 作 機 械	1	エチオピア	○	100	1	コスタリカ	○	147	
	1	フィリピン	○	101	1	マレイシア	○	148	
	1	フィリピン	○	102	1	ケニア	○	149	
	1	マレイシア	○	103	1	マラウイ	○	150	
	1	マレイシア	○	104	1	ガナ	○	151	
	1	バングラデシュ	○	105	1	西サモア	○	152	
	1	バングラデシュ	○	106	1	タンザニア	○	153	
	1	タンザニア	○	107	1	バングラデシュ	○	154	
	1	マラウイ	○	108	1	シリア	○	155	
	1	フィリピン	○	109	1	マラウイ	○	156	
	1	フィリピン	○	110	1	シリア	○	157	
	1	マレイシア	○	111	1	コスタリカ	○	158	
	1	マレイシア	○	112	1	フィリピン	○	159	
	1	バングラデシュ	○	113	1	フィリピン	○	160	
	312 冷 凍 機 器	1	スリ・ランカ	○	114	1	マレイシア	○	161
1		マラウイ	○	115	1	バングラデシュ	○	162	
31502 視 聴 覚 機 器 事	1	マラウイ	○	116	3	ネパール	○	153	
	6	ザンビア	○	117	1	チュニジア	○	154	
320 電 気 工 事	1	ガーナ	○	118	1	モロッコ	○	155	
	1	フィリピン	○	119	1	モロッコ	○	156	
	1	マレイシア	○	120	1	ケニア	○	157	
	1	スリ・ランカ	○	121	1	タンザニア	○	158	
	1	ケニア	○	122	1	タンザニア	○	159	
321 電 気 機 器	1	タンザニア	○	123	2	マラウイ	○	160	
	1	フィリピン	○	124	2	マラウイ	○	161	
	1	マレイシア	○	125	2	マラウイ	○	162	
	1	スリ・ランカ	○	126	1	マラウイ	○	163	
	1	ケニア	○	127	1	ザンビア	○	164	

職 種	要請数	国 名	調査表の有無	ページ	職 種	要請数	国 名	調査表の有無	ページ
360 電話交換機	1	ケニ ア	⊕	163					
	1	バラグアイ							
370 搬送機	1	バラグアイ							
381 無線通信機	1	ザンビア	⊕	164					
	1	ガナナ							
	2	バラグアイ							
382 送信機	1	タンザニア	⊕	165					
401 土木設計	1	エチオピア	⊕	166					
	2	マラウイ	⊕	167					
40102 道路設計	1	シリア							
40103 橋梁	1	シリア							
40106 土質検査	1	シリア							
	1	マラウイ	⊕	168					
402 土木施工	1	ネパール	⊕	169					
	1	シリア							
	1	モロッコ							
	3	ガナナ							
403 測 量	1	ネパール	⊕	170					
	3	モロッコ							
	2	モロッコ	⊕	171					
	2	ケニア	⊕	172					
	1	タンザニア	⊕	173					
	1	マラウイ	⊕	174					
	1	ガナナ							
410 建 築	2	ケニア	⊕	175					
	1	タンザニア	⊕	176					
	1	マラウイ	⊕	177					
	1	マラウイ	⊕	178					
	2	ガナナ							
	1	西サモア	⊕	179					
41009 建築模型	1	ネパール	⊕	180					
420 造 園	1	バンラデシュ	⊕	181					
	1	モロッコ	⊕	182					
	2	タンザニア	⊕	183					
430 配 管	1	マラウイ	⊕	184					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

201 陶 磁 器

記入昭和 53 年 4 月 1 日

調査者氏名 神谷弘司
北 垣 俊 夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) China Ware	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 陶磁器—B, D(1, 2)	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 年 月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): East Visayan School of Arts and Trades (EVSAT)
(日本語): 東ビサヤ工芸学校

ロ. 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称 (同上)
所在地: Dumaguete City 主要都市からの距離 (空路) より 3 キロ

ハ. 事業規模及び内容: 教育文化省傘下の工芸学校で東ビサヤ地域の代表的な工芸学校の一つである。小学校から大学まで有しているが、中心は高校部と大学部の職業訓練教育である。電気科、電子科、自動車整備科、工作機械科、木工科等9科あり生徒数2000名、教職員数110名。

ニ. 設備概要: 敷地は4.25㎡と狭小で、木工、工作機械、自動車整備科は歴史も古くアメリカの援助のおかげで設備はかなり充実している。

(2) 隊員の業務内容: 土陶に代わって代表的な良質粘土産出地ビサヤ地域の産業発展に寄与することを最終目標として、手始めに当校に陶芸科を新設し、地域住民の子弟を教育する。

- ① 隊員の業務上の地位: インストラクター。
- ② 技術の範囲: 製造技術、釉薬技術、焼成技術、窯窯技術等全般に亘る。粘土原料調査や釉薬の製造方法、試験結果等を現地人の産業者に教える。カリキュラム作成。
- ③ 業務の形態: 生徒に対する理論、実習の指導及び産業者に対する向外的技術指導。
- ④ 対象者: 産業者のカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢; 現在産業者にはないカウンターパートはMSU-IT (イリガ) の協力で自身の訓練生を物納する。他に当校に建築製図を専攻し、その後焼物に少しかじったことがある (焼成技術 SK6まで経験) の工芸学校卒業の Mr. LAPEZ (47) がいるが、当人は既に主任クラスであるためカウンターパートにはならない。
- ⑤ 現地で利用している材料: 今年度予算が2万5千ポンドを陶芸科材料購入のために準備しており現在何か購入しなくてはならないが購入リストは300V産業者が作成する予定。現存している材料として電気窯 (8kw, 230V, Max temp. 2000°F, 容量 40cm x 40cm x 60cm, 横南式, American Art clay Co.) があるが、温度が及ばないから使えない。
- ⑥ 現場にあり得る3国人及び日本専門家配置状況: 直接専門家配置はないが National Science Development Board 関係の日本専門家植野氏が時々この地域を視察して訪れる。
- ⑦ 使用する言語: 英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新規要請。
良質の粘土が多量に産出される東ビサヤ地域の地域産業の育成が望まれている。市場は近くにセブ市とあり、このため期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
① 高校卒業科又は産業高校卒業以上。② 釉薬、焼成技術の知識を教えられること。③ ロク口技術に本当に詳しいこと。④ 窯窯が得意なこと (実際に日本で窯を築いたことがなくとも理論を完全にマスターして、窯入設計、修正ができること……燃料はコークス、オイル等)。⑤ 現地の産業者と接点があること。⑥ 年齢 24 才以上。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表 **新保昭治**

記入昭和55年8月15日

201 陶磁器

調査者氏名 **神崎 修**

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Ceramic Specialist	(男) 1人	訓練開始 5.56年4月
	(日本語) 陶磁器	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 5.56年8月 受入期限 56年10月迄に現地到着のこと
(1) 配属先 Provincial Development Staff, Oroquieta City, Misamis			
1. 配属先名称 (現地公用語): (日本語): ミサミスタシオロキエタ市開発職員			
ロ. 隊員勤務先名称: Ceramics Project Oroquieta 日本語名称 (和名) 陶磁器企画			
所在地: Capital site Oroquieta City Misamis 主要都市からの距離 ミサミより50キロ			
ハ. 事業規模及び内容: 地場産業 (近くは Sibugon という工器造りの村がある) 振興のため、地元子弟の技術育成。将来 当プロジェクトは 陶磁器職業訓練所にするという構想を持っている。			
ニ. 設備概要: ポットミル4台、架け機械、電動ロクロ2台、電気研突機用4型1基、低火度用電気研突機1基、倒炭式薪窯(15m³ 建設中)、粘土用小型ミル1基、手回しロクロ3台、その他2年用道具、詳しい別添子集参照			
(2) 隊員の業務内容: ① 隊員の業務上の地位: Ceramics Consultant			
② 技術上の範囲: 高火度釉 (1100℃以上) の使用、ロクロ成形技術を中心にタイル等の建築業にも明るい事。薪窯の操作技術も要する。			
③ 業務の形態: カウンターパートを中心に Sibugon の子弟の技術教育 (ロクロ成形及び窯) につき、高火度釉 - 主に灰釉を中心に (灰 - の調合等)			
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準 学歴及び年齢: : 対象者 - Sibugon の子弟、中学卒業程度 (10代後半から70代にかけて) 多くの技術あり。 : カウンターパート - 女性 (26才) 日本で9ヶ月の技術訓練を受ける。温飲機が3台程度。高卒			
⑤ 現地で利用出来る機材: 上記の設備及び、ムロ、粘土台、乾燥機、建設機等の他に (素焼き窯、水ひたし、粘土用、水道設備)			
⑥ 職場に於ける3國人及び日本専門家の配置状況: マニラに窯業の専門家 (CRDC) がいる。			
⑦ 使用する言語: ビサヤ語 (元地語)、英語、タガログ語 (公用語)			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 上述の様に 将来 陶磁器職業訓練所のような形にしたい構想がある。これには、地場産業 (Sibugon) の育成が大きな背景としてあり、現在、その基礎作りの段階が今後これを更に発展させて行く姿勢及び技術の期待されている。(神崎 修 隊員 5/15 からの交替要請)			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):			
① 学歴 ~ 卒業程度: 窯業 高校 卒業程度 或いは 大学の専科卒業			
② 取得資格: タイル等の建築窯業の知識を有する程度 併せている事。			
③ 実務経験 ~ 年程度: 実務経験 3年以上。薪窯の操作が出来事。ロクロで急須が出来る事。高火度釉の調合が出来事。			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 10 月 2 日

201 陶 磁 器

調査者氏名 新保 昭三

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	Ceramics	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
	陶磁器		

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Pangasinan state university

(日本語): パンガシナン州立大学

ロ. 隊員勤務先名称: Pangasinan state university 日本語名称 (パンガシナン州立大学)

所在地: Singayen Pangasinan 主要都市からの距離 (一より〇キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

州立大学に於いての工芸技術の中心の学校であり生徒1250人 教員49人程がある。コースとして Ceramics がある。

ニ. 設備概要: Ceramics 研究室には必要の機器類はあり、取り扱える設備は十分にある。

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位; 大学に於ける Instructor として主に技術面の指導を、大学教官 学生に行う。

② 技術の範囲; 本来に限り力を入れた技術があることである。

③ 業務の形態; 大学教官 学生に対する技術指導

④ 対象者及びそのから; サポートの技術水準 学生及びその令 Ceramics のコースには、数名の先生が居りその中の一人は日本から研修を受けた者であり現況について問題はない。技術の面でも考えられる。

⑤ 職場に於ける才三国人の配置状況; 外国人専任家なし。

⑥ 使用すべき語; 英語、他なし

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

Pangasinan 州は昔からの陶磁器の生産地であり日本からの協力を希望している。才三隊のメンバーは Barrio での技術指導を行って。今回のような種類の希望に基づき、より高度の技術を研究、普及すべき計画があるためであり、期待が持たれている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について〇印で囲むこと):

経験年齢 3年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年4月15日

201 陶 磁 器

調査者氏名 坂牧嘉昭

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
タイ	(現地公用語) Ceramic Technology	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 陶磁器	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of University Bureau
(日本語): 大学庁

2. 隊員勤務先名称: Chiangmai University 日本語名称 (チェンマイ大学)
所在地: Chiangmai 主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: チェンマイ大学はタイにある14の国立大学の一つ。人文、教育、社会、理工、農、医、歯、薬、医学、看護の11学部があり、学部の定員は1,159人約4,800人の学生が在籍している。

4. 設備概要: 理化学、JICA派遣の専門家が化学部にて指導中であり、必要設備は逐次拡充されている。

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: 同大学理学部の Laboratory Assistant。
上記専門家との共同で、窒素と材料科学の実験と理論を担当する。

② 技術的範囲: 珪酸工学 (Silicate Technology) に関する各種実験、材料科学に関する実験、窒素 (窒素の技術は不要)。

③ 業務の形態: 上記専門家のために、
① 実験室用機器の操作、
② 実験操作、成型、焼成等の実験補助、
③ 材料、窒素に関する化学的、物理的、地質学的方面からの各種研究作業 (学生の) に参加 (図) する、
④ 珪酸工学に関する授業の補佐。

④ カルテレポート: 同大学の実験室助手
⑤ 利用する機械: 実験用器具は概ね整備されている。

⑥ 在りての設置状況: 同学部には4人。

⑦ 使用言語: タイ語 (英語も必要があるが、生活には生活者として)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: タイ北部は窒素が乏しく、工場には高レベルの技術者がいない。これから工場に標準提供をするための技術者を育てるために求められ、そのために現在活躍中の専門家やこれから派遣される予定の協力隊員に希望、同大学理学部幹部の期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件についてQ印で囲むこと):

① 大卒、衛生陶器、セラミックスの生産工場での研究開発に2年以上の実験を有する人。
他の窒素の取組人は、対象が大学生のみであり、困難。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 9 月 4 日

201 陶 磁 器

調査者氏名 平 沢 昭 男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
スリランカ	(現地公用語) Ceramics	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 陶磁器	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Rural Industry Development, Dept of Small Industry
(日本語): 農村工業開発省 小規模工業局

ロ. 隊員勤務先名称: Weligama Ceramics Center 日本語名称 (ウエリガマセラミクスセンター)
所在地: Kumbalgama, Weligama 主要都市からの距離 (20kmより145キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 小規模工業局は202ホを中心として島の南西部に Production Unit と称するセンターを有しており、陶磁器関係では202ホ一帯に南に202ホ、2-97 (島の南部) に202ホ、北に202ホ近郊に10所のセンターがある。

ニ. 設備概要: 国道でなれた2棟の建物があり、うち1棟はつい最近開かれたばかり。粘土は土より、機材は一切揃っている。

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員の業務上の地位: センターの長と同格。

2. 技術の範囲: 泥漿練込、口ワケ成形、絵付け等、陶磁器に関する全般的な知識と技術が必要。素人目ではあるが、町にはスリランカ製の食器、花瓶コン等のより高度な技術で作られるものが出回っている。かたがた、装飾用陶器の類は、細業の数が限られているとのため、デザイン、色調等、単調なものが多い。この点の改良を加えられたり改良されたものが出来ると思われ。

3. 業務の形態: センターのインストラクターに対する指導とともに従業員に対するも基本的な技術的な指導も兼ねて行われる。

4. 村長若しくはインストラクター等: インストラクターは基本教育(10年)を終了、約20年の経験を有する。一般従業員は今のところ女性かまで40人ほど、年齢は20才前後。

5. 現地で利用可能な機材: 電気窯(1200℃) ホールミル、ワーミル、キックフール(蹴口ワケではなく、足踏式と思われる)。その他、器具は一切揃っている。

6. 才3国人等: 今のところ、いない。

7. 使用する言語: シンハリ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

現在でも十分に実用と見做る陶磁器を作っているにも拘らず、隊員派遣の要請があるのは、品質、生産性の向上を担ってものである。特に絵付けなどはまだ改良の余地があり、また、灰皿等のデザインにしても10年前ほどにはなっていないと認められる。このように、今までの新開工場の改良は

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 他に、この希望をもっている。

学歴より技術を重視。上記業務を遂行できるよう、スリランカに必要と思われる隊員であればよい。単車免許を有すれば望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 3月 16日

201 陶 磁 器

調査者氏名 渡辺美秋 山崎華

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
モロッコ	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

1. 配属先名称 (現地公用語): MINISTÈRE DES AFFAIRES SOCIALES ET DE L'ARTISANAT
 (日本語): 社会事業省

ロ. 隊員勤務先名称: CENTRE DE POTERIE DE L'ENTRAIDE NATIONALE 日本語名称 (モロッコ) 製陶訓練センター
 所在地: マラケシュ市 カッベージュ地区 主要都市からの距離 (マラケシュより) 71キロ

ハ. 事業規模及び内容: 1977年設立以来、70人の卒業生を、主にマラケシュ、サフィの民間窯に送り出している。家庭用の陶器ではなく、観光用、鑑賞用の壺、水差し、タイル等を製作している。国からの予算はゼロ。

ニ. 設備概要: 敷地の約 200㎡ の中に、足踏み式 D70 のある整形室、西独製電気炉のある、焼室兼色付室、等がある。大型の作品用に センター付 D70 がある。

(2) 隊員の業務内容: ① 陶器製造指導教師。 ②③④ 入学に際し、何らの学歴も

要求されていない 14~17才の男生徒 35人に対し、現在働いている モロッコ人教師 (20名) 経験の男性。サフィの民間窯で3年経験 (たのち、センターの設立と共に教師となり今日に至る。唯一の職員である) と共に陶器製造の理論、実技を指導する。訓練年数は2年で、1年目は、一周間に3時間程度の理論と、模様のデザイン、D70、炉の使い方等を学び、2年目は 実習を行なう。センターの予算は生徒の作品を販売した利益によりまかなわれており、年3回 出られる作品展示即売会にかんする経理事務雑用等も多いと思われる。観光用を主とした現状から一歩ふみ出し、実用陶器の製作指導が望まれている。

⑤ 上述のとおり、足踏み式 D70 1台、大型作品用 センター付 D70 1台、西独製電気炉 (14SH, 380V, 18KW, 最高温度 1400℃) / 1台。

⑥ モロッコ人のみを運営している。

⑦ カウンターパートとなるモロッコ人教師は フランス語ができる。生徒達には アラビア語が必要となるが、実技指導を主とすれば、言葉の問題は 余り大きくないものと思われる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在のモロッコ製陶器は品質が悪く実用的な陶器はほとんど、主に中国からの輸入に頼っている。この国の自立と質的改良をめざして、隊員派遣をおこなっている。

研究/調査/人/スラム/地/中/海/沿岸/の/センター/が/開/く/こと/を/望/む/。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 経歴 4年以上、高卒以上。居住地の 年間の平均気温が 5℃ ~ 50℃ にわたる砂漠性の気候であること、魚は余り食いたないこと、等の理由で身体強健、食物面が不満足でない人。モロッコの伝統を維持しつつ、強いやすく美しい実用陶器をつくる意欲のある人。センターが市の中心部に少し離れたところ。バグの免許を求めていること。 80

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 4月 16日

210 竹 工 芸

調査者氏名 新保 昭治

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定	
フィリピン	(現地公用語) Bamboocraft	(男) 人	訓練開始	年 月
	(日本語) 竹工芸	(女) 人	派遣予定	年 月
		(どちらでも可) / 人	受入期限	年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education & Culture

(日本語): 教育・文化省

ロ. 隊員勤務先名称: Tomas oppus pilot school 日本語名称 (トマスオプスパイロット学校)

所在地: Marikina, Marikina Solegta 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

地元の住民の現金収入を増やすべく製竹に計画されることがあり
竹工芸の地・陶磁器の中心に成長するべく組織される。

ニ. 設備概要:

建物のみであり、他の設備はない。

(2) 隊員の業務内容:

隊員の業務上の地位: 学校に於ける教員

技術の範囲: 一般市場へ製品の輸出をさせる技術が必要

業務の形態: 学校に於ける指導

対象者及びその数: タグバヤットの技術水準、量産、及び命令;

対象者のうち、小学校の児童年、学校に行かない
ものが多く、大人、からタグバヤットは隊員派遣
時に雇う予定。

現地の利用出来る機械: ない

使用すべき言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新規

都市に於ける職業教育の進んでいること、就労率は余り高く、
このため都市に於ける地場産業の育成が格段盛んに行われており
このためこの pilot project としてその成果が期待されておらず
そのために隊員への期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○印に付く。出来れば製品の市場を開拓する程度の技術があれば可

*お願い。

受入希望調査表合本 NO. 2 の ページ 82 と差し替えて下さい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 8 月 26 日

210 竹 工 芸

調査者氏名 平沢 昭 男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
スリランカ	(現地公用語) Bamboo Craft	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 竹 工 芸	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
(1) 配属先		(女性)	
I. 配属先名称 (現地公用語): National Youth Service Council (NYSC)			
(日本語): 国家青年奉仕評議会			
II. 隊員勤務先名称: Akmeemana Training Center		日本語名称 (サミ-27 ト-227-29-)	
所在地: Walahandiwa Akmeemana,		主要都市からの距離 (Colomboより 10キロ)	
III. 事業規模及び内容: 1979年度予算は2000万ルピー(約2億8000万円)、国内全職女子の99%に及ぶ。本中心はリ-ソナルオフィスと有給屋の全国に70所(新設中23所を含む)のト-227-センターを有し、out-of-schoolの青年と19-21歳の教育、自らの職の訓練を行なっている。			
IV. 設備概要: Centerの事務所は1200平方メートル、竹工芸、洋裁等の7-723770の訓練生の宿舎と有する。(7-723770と書いても日本では規模には差はない)			
(2) 隊員の業務内容:			
1. 隊員の業務上の地位: イストラクター			
2. 技術の範囲: 現在、このストラクターが盛んな、四等製作しているのは、口外目に見ても4や4はものである。同じカカ類を制作にしても、もう少し細かくして作りものがほしい。花カカ、7-4等製品に、カウエターもとせ、染色して品を制作する、指導すれば、製品の販路も広がるといえる。			
3. 業務の形態: 国内各地から集まった訓練生(今のところ女子ばかりで、調査の時点を竹工芸を学んでいるのは14人であった)に竹工芸を指導する。(教室型)			
4. 対象者及びカウンターパート等: 訓練生は年令15~20才の3歳、10年の基礎教育から脱落している。カウンターパートは、このストラクターは年令30才の女性で、Small Scale Industry Departmentの訓練所は2年間の訓練と、5年間の経験と有する。			
5. 仲間等: 現在 UNV から派遣された、10人の女性が、洋裁を教えているが、55年12月に任期を終えて帰国する予定。			
6. 使用する言語: シンハリ語			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:			
NYSCは、上述のように10年間の基礎教育で、全く出来はかつて青年達に、少しい資本投資で生業をつくる、はじめのころより訓練を行なっており、本要請は第一環である。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):			
年令 23~25才程度。業務経験 2年程度が望まれます。			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 9月 4日

210 竹 工 芸

調査者氏名 平 沢 昭 男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派 遣 予 定
スリランカ	(現地公用語) Bamboo Craft	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 竹 工 芸	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 1人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配 属 先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Rural Industrial Development, Dept. of Small Scale Industry
(日本語): 農村工業開発省 小規模工業局

2. 隊員勤務先名称: Kuruwita Bamboo Center 日本語名称 (ケルウイタ竹工芸センター)
所在地: Kuruwita, Ratnapur 主要都市からの距離 (コロンボより 90キロ)

3. 事業規模及び内容: 小規模工業局は、国内各地に Production Unit と呼ばれる生産工場を有しており、陶磁器、竹細工、藤細工等を作っている。これらの製品は省の別の局を通じて国内で販売されたり輸出されたりしている。

4. 設備概要: センターは建物は小さいが、材料は竹割材の3割材等が揃っている。

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員の業務上の地位: センターの長 Demonstrator と同格

2. 技術の範囲: 現在作っている製品は盛力が強すぎてある。ラップシート等も作っているが、これも編み方が難しく、堅牢性も欠く。西ドイツへ輸出している間には、作りも粗くて2も輸出されたいのは言い難い。隊員は、現在作っている製品の品質向上のため、他の色んな製品の製作紹介と、指導を行っている。

3. 業務の形態: 生産活動を行なっているセンターの Technical Advisor 的な役割を果たすことになる。現段階ではスリランカ人の女性に指導しているが、隊員は、このスリランカ人を指導しつつ従業員の指導も行なうことになる。

4. コリヤポート等: 上記のスリランカが直接のコリヤポートとなる。10年間の基礎教育を終った後、7年間の経験を有する、年令28才の女性。

5. 現地で利用可能な材料: 調査者本人のこの材料の名前はわからないが、竹工芸用として今まで見て中ではかなり丈夫な物が揃っている。カト製

6. 外国人等: いない。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 7. 使用する言語: シンハラ語

このセンターには1960年頃日本人が来て竹工芸を教えた。その時のカマコリがあれ。その後恐らく当時のコリヤポートであったと思われる人物が日本で研修を受けた。帰国後センターを教えたが、役目を終った後、これからは技術と進歩の足らぬところだ。この30年間は新しい風を吹き込みたい。という意味での要請である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

学歴より技術を重視する。上記(2)-2の業務を行なうには現地での需要に合ったものを開発できる応用力がほしい。年令は25才前後のことが好ましい。物は揃っているが、単車免許があれば望ましい。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 56 年 4 月 8 日

211 木 **I**

調査者氏名 茂木 治夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
EGYPT	(現地公用語) Menuiserie	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 家具製造 (木工)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministère des Affaires Sociales et de l'Artisanat
 (日本語): 社会省
- ロ. 隊員勤務先名称: Centre de Formation Professionnelle 日本語名称 (木工訓練センター)
 所在地: de Fes 主要都市からの距離 (300) キロ
- ハ. 事業規模及び内容: 社会省の4つの基幹(中心)訓練センターの1つ。木工製造技術の習得と伝承のための訓練施設。指導員は毎年14名×3年。教員数は4名。
- ニ. 設備概要: 約10年前 211-1 組合の慈善団体の協力を得て開設された。この施設は1980年現在、南向主要機械。道具はほぼ必要量は揃っており、必要は揃っていると思われる。

(2) 隊員の業務内容:

- 業務上の地位:** インストラクター。3年の学業の修了後に担任の資格にあり、この学業を支援する。誰か100%責任、担当は決まらなければならない。
- 技術の範囲:** 1年目は治具板、型枠等と手作業につき、2年目は(組合大工センター)の大きなもの (machine combinée と呼ばれる) を用いた椅子製造等、3年目は細い板や木材の加工等、この後半は外装の注文(材料費は注文者負担)に際して木工用器具の製造等を行う材料加工の加工等を行う。教員とカーン-レベル技術者が揃っている。このため、椅子製造は2-D、D式に近づける。
- 業務の形態:** 月1回(朝8時-午後6時 (昼休み 2時-2時30分))の勤務。教員として指導する。
- 機械等:** 上記 machine combinée は 1311-製。これは (組合) の製と思われる。乾式機、板を加工、曲げ、削り。この機械は木工用機械の標準機械である。
- 使用の言語:** フランス語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

EGYPTの家具産業にはかなりの木材が不足している。輸入に頼る必要があり、家具は古くは(西)の技術が中心である。だが、この国には板や椅子の製造。一方、フランス-エジプトの間に互いの国家協力はあり、相互利用して家具や彫刻の近代化を推進するために必要としている。高度の手工技術は多い。技術の向上と、未利用木材の活用によって、研究の促進は必要である。234-地中海沿岸に活用して家具産業を育てたい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

専攻以上。経験 2-3 年以上。教員としての経験があること。2-D、D式の大工道具やフランス式の家具製造に15%の加工が望ましい。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 9 月 12 日

211 木 工

調査者氏名 江畑義徳 江畑

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タンザニア	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	CARPENTRY	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
	木 工		

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF EDUCATION, ZANZIBAR

(日本語): ザンジバル教育省

ロ. 隊員勤務先名称: NIKUNGUNI TECHNICAL SECONDARY SCHOOL 日本語名称 (シフン) = 技術専攻学校

所在地: P.O. Box 294 主要都市からの距離 (市内より) キロ

ハ. 事業規模及び内容: ケニアの植民地時代に同国の援助で開設。4年前に技術専攻学校に変更。

現在 CARPENTRY, WELDING, PAINTING, MACHINE TOOLS, ELECTRICAL 等の部内があり。4年コース。生徒数は102名。先生は22名いて各コースを受け持っている。

ニ. 設備概要: 1955年に南校した。3とあり。校舎も古く。設備・機具とも1-応揃して。300坪。290坪。

(2) 隊員の業務内容:

(1). 業務上の地位... 木工コース教官

(2). 業務の範囲(形態)... 教室での理論の講義と付属ワークショップでの実技指導が中心とあり。講義内容としては、一般家具、さしもの細工、木製模型、木製彫刻等である。

(3). 利用するレポート... 無し

(4). 現地で利用できる教材... 木工道具は1-応揃して。

(5). 職場に在りて其の国人... 上記22名の先生が35 ティンダーマン 25 ケニア人1名(100%もボランティア)

(6). 使用する言語... 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

小規模工業分野の技術が少なく、反面最近の需要に迫る。技術者の育成が急務となっている現状である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

実務経験1年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

211 木 I

記入昭和 年 月 日

調査者氏名 大倉保三

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
コスタリカ	(現地公用語) En muebles de madera	(男) 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 家具木工	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) / 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Consejo nacional de Rehabilitación y Educación especial
(日本語): 特殊教育リハビリテーション審議会

ロ. 隊員勤務先名称: NARANJO リハビリテーションセンター 日本語名称 ()
所在地: NARANJO 主要都市からの距離 (上り キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 現在 NARANJO 市及び TURRIALBA 市のそれぞれ 150人~200人
程の身障者生産協同組合が組織されている。

ニ. 設備概要: 現在計画中の段階であるが、TURRIALBA 市は土地を
確保、NARANJO 市は TALLER を確保済 4 6 月 5 日 予定

(2) 隊員の業務内容:

隊員は Naranjo 市及び Turrialba 市の設備された身障者
生産協同組合で身障者に対し家具木工の技術指導を
する。

- ① 業務上の地位: INSTRUCTOR.
- ② 技術の範囲: 身体ハンディキャップを持つ人に対し市場
性のある製品を生産する技術を指導する。
- ③ 業務の形態: 生産工場にて身障者に直接指導。
- ④ 対象者及びカウンターの技術水準
現在カウンターは持っている。
- ⑤ 現地で利用できている機材: 現在機材をそろえているが
機材は少ない。
- ⑥ 職場に於ける外国人及び雪内家: いない。
- ⑦ 言語: スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: コスタリカ側の身障者に対する雇用対策を促
める組織を作り BID からの援助を得ているが
計画の段階でとまどっており隊員には身障者
に対する指導と併せて活動計画作りも期待される。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高卒以上、身障者に対する指導経験があること。

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 44 年 10 月 21 日

221 鑄 造

調査者氏名 山崎 昇

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) Foundry	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 鑄造	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bulacan College of Arts and Trades
(日本語): ブラカン工芸大学

ロ. 隊員勤務先名称: 全工 日本語名称 ()
所在地: Malabes Bulacan 主要都市からの距離 (マニラより 36 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 現状は約40名程度の高校部の学生が鉄, 非鉄金属に関する鑄造に関する職業教育を受けている。細々とではあるが, 手工具類 (万力等を含む) 生活用品, アクセサリー等を加工している。① 別添写真参照

ニ. 設備概要: 別紙 ①を参照

(2) 隊員の業務内容: 鑄造科の指導, 具体的には鉄, 非鉄金属類用の溶鉱炉の操作指導, 鉄, 非鉄金属の鑄造指導 (理論, 技術), 砂型の作製, 手工具類 (万力等を含む) の鑄造指導をインストラクター (現地の先生) に行なう。

1. 隊員の業務上の地位: インストラクター
2. 技術の範囲: 溶鉱炉の操作技術, 鉄, 非鉄金属類の鑄造技術, 砂型, 木型等の鑄造技術
3. 業務の型態: インストラクターとして前記の業務を鑄造科及び機械科とのタイアップで行う。
4. カウンターパートの技術水準及び学歴, 年齢: 鑄造技術及び溶接技術をフィリピン工芸大学で学ぶ。38才 (詳細別紙 ②を参照)
5. 利用可能な機材: 別紙 ①を参照
6. 職場における才三国人及び専門者の配置状況: なし
7. 使用する言語: マカログ語, 英語,

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 鑄造技術の指導及び機械科等とのタイアップにより, 学校内外で必要の手工具類, 生活用品等を生産出来る状況を作り出すことにある。
(新規要請)

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
高専卒程度で機械工学を履修した者, 最低2年程度の実務経験及び指導経験が求められる。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 54 年 11 月 17 日

221 鑄造

調査者氏名 小川 賢

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
HONDURAS	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始 年 月
	MANUFACTURA DE MODELOS	(女) 人	派遣予定 1980 年 8 月
	(日本語) 鑄金(鑄造)	(どちらでも可) 1 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 MINISTERIO DE EDUCACION PUBLICA 文部省

イ. 配属先名称 (現地公用語): DIRECCION GENERAL DE EDUCACION MEDIA (DEPTO. EDUC. TECNICA)

(日本語): 中等教育局 技術教育課

ロ. 隊員勤務先名称: SERVICIOS TECNICOS (MIN. DE EDUC.) 日本語名称 (技術普及部門(文部省内))

所在地: TEGUCIGALPA, D.C.

主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 専門技術者育成を目的とした6年制(日本の中・高校に相当)工業学校を管轄におく。この工業学校では一般教養や基礎工学技術を習得させ、大学入学への道を開いている。従来、技能訓練校であったが、昨年2月より、世銀の援助もあり、工業学校に発展し、現在1年生140名、2年生90名を擁す。

ニ. 設備概要: 教室12、講堂、図書館、実習室11(電子、電気、冷凍空調、自動車、工作機械、鑄造、板金、鍛造、溶接、鉄構、配管、木工)として実験室などを有す。

(2) 隊員の業務内容:

上記の工業学校で、鑄造技術教官として、ホンジュラス人教官と協力し、各種実習コースのうち、鑄造実習、鑄造技術、理論を生徒に教える。また、隊員の身分は、又部省内技術普及部門付となっており、必要あれば、他の工業学校にも技術教官として巡回指導する場合もある。

① 隊員の業務上の地位 …… 文部省技術普及部門付鑄造技術教官

② 技術の範囲 …… 鑄鉄、ブラス、軽金属による砂型鑄造技術。また、現在のところ設備はないが、理論技術として、ロストワックス法、精密鑄造法、遠心鑄造法、ダイカスト法など各種鑄造法にも詳しいこと。

③ 業務の形態 …… 授業時間 7:30 AM ~ 3:00 PM、1授業単位40分、月~金曜、175名30名、座学と実習を交互に行なう。鑄造は各種実習コースのひとつ。

④ 対象者 …… 中・高校生13才~18才、ホンジュラス人教官とのカリキュラム、指導法の策定。

⑤ 現地で利用できる機材・設備 …… 鑄造実習室には、鑄物砂処理器、電気炉3セット、砂型枠約30セット、熱処理用電気炉、万力、工具類完備。材料試験器、金属組織用顕微鏡、研磨セットも利用できる。

⑥ 専門家、オ3国人の配置 …… なし

⑦ 使用言語 …… スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新規要請

ホンジュラス政府は、産業振興、工業レベル向上のため、優秀な技術者の育成に注力している。鑄造技術はまだ初歩的な段階である。文部省でも、機械工作技術の基礎のひとつである鑄造について、今後の技術者の備えるべき技術として重要視している。隊員による日本の進んだ技術・知識の現地移譲に期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高専卒、或いは大学工学部卒で、機械工学を履修した者、最低3年ほどの実務経験を有すること。指導経験があれば尚良し。砂型による鑄造技能が必要。技術面にも明るく、各種鑄造法の理論、実際に精通していること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年4月10日

222 鍛 造

調査者氏名 大西 魁夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
72423	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	Forging	(女) 人	派遣予定 57 年 / 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Industry Zanzibar

(日本語): ザンジバル工業省

ロ. 隊員勤務先名称: Titegeme small scale industrie 日本語名称 (ジテゲメ小規模工場)

所在地: ザンジバル 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 鍛造部はメカニカル部門に併設されており、アルミ、スチール製品(鍋、食器)の付属品の加工、製が主な業務である。同部門は1978年から開始しており、現在3名のテクニシャンがいる。

ニ. 設備概要: 1トンの大型鋼圧ハンマーや高温熱処理機などがあり、メカニカル部門には相当の機械が揃っている。

(2) 隊員の業務内容:

各種機械部門の設計、製法

各種製品の付属品の設計、製法

高温熱処理技術の指導

現地人のテクニシャンに対する技術指導

赴任時の鍛造の専門工具を携行する必要がある。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

鍛造部門はジテゲメ工場において最も重要部門の一つであるが、最近導入された新しい技術分野があるものの技術者不足が深刻である。

他部門の採集と同様にこれらの技術者の養成は急務であり、隊員に寄せる期待を大々的に行っている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 鍛造専門学科卒業生 ○ 実務経験3年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年4月15日

223 溶 接

調査者氏名 坂牧嘉昭

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タイ	(現地公用語) Welding	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 溶 接	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education
 (日本語): 文 部 省
- ロ. 隊員勤務先名称: Institute of Technology and Vocational Education
 日本語名称 (技術職業教育大学) ^{422マ作校}
 所在地: Chimonai 主要都市からの距離 (より キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 日本の工業専攻校内学校の他に更に2年間のコースにある職業教育大学であるが、最後の2年に進学する人は122名の本校に行かぬが、
 最初の3年は certificate level, 続く2年は Diploma level, 最後の2年は
 二. 設備概要: Post Diploma level 2. 222年専攻 Degree がある。1979年の
 教員数 Certificate level: 998人, Diploma level 1713人である

(2) 隊員の業務内容:

- ① 業務上の地位: 溶接専門家として教授スタッフの一員になる
- ② 技術上の範囲: ガス溶接, 電気溶接
- ③ 業務の形態: 上記 Diploma level の学生のうち Welding Course の
 1年生 80人 4クラス, 2年生 80人 4クラス 計 802人ある
 1クラス約 20人であるが、午前 4クラス、午後 4クラスで
 学生は 1週間 35 時間 学ぶことにしている。
- ④ からのレポート: 溶接教師として資格を有する者 1人あり、18名が
 からのレポートをして、協力する予定。
- ⑤ 利用される機械: ガス溶接テーブル 10, 簡易電気溶接 10,
 TIG (ガスアーク) 溶接 2 (松下電工製), Metal Inert Gas 1,
 Sub Merge 1, Gas Cutter (中池電機製) 1.
- ⑥ 邦国人の配置状況: ~~現在~~ この大学には JICA の研修員として 1名
 (電気溶接) は教師が 7~8人いる。Mr. Wichai Anantakun-tan
 147人 1人。は日本培がうり (名古屋大学研修)。
- ⑦ 使用する言語: タイ語

- (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在溶接の教師は1人いるのであるが、同教師に
 対し新しい技術の紹介をして、1週間最中限 20 時間の講習を受ける
 もらうこと、を同大学は期待している。良肉の溶接工場に必要な溶接
 技術を身につかせるための訓練計画の策定。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件についてO印で囲むこと):

大学が専攻
 (経験 5年 以上)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 4月 15日

223 溶 接

調査者氏名 表伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Welding	(男) 1 人	訓練開始 1981年 10月
	(日本語) 223 溶接	(女) 人	派遣予定 1982年 1月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): BUREAU OF MANPOWER, EMPLOYMENT AND TRAINING (BUMET)

(日本語): 労働社会福祉者職業訓練局

ロ. 隊員勤務先名称: Technical Train Centre, Chittagong 日本語名称 (チッタゴン職業訓練センター)

所在地: P.O. Nashirabad, Dist: Chittagong 主要都市からの距離 (ダッカより60キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 2年制から6か月コースに移行した職業訓練センター。電気、溶接、木工、ラジオTV、空調等13コース、教官約50名

ニ. 設備概要: 国連のプロジェクトとして機材が入っており、施設も揃っている。

(2) 隊員の業務内容: 卒業後は溶接工となるべき生徒に対し、現地人教官と協力して溶接の講義、実習を担当する。

① 業務上の地位: 校長下の教官, Chief Instructor, Senior Instructor, Instructorの3段階の Senior クラス。

② 技術の範囲: 現場向きの中堅技術者育成が目的のため、又、6か月コース、機材不足もあり、高度なことは望めない。(電気、ガス溶接)

③ 業務の形態: 8:50~14:10 主に 実習担当 週に1~2時間理論の授業。

④ 対象者及びカンファート: 16~18才 6か月毎入換。Secondary School 又は High School 卒。日本の高1~3年と相当するが、学力は日本の中学程度。

⑤ 現地で利用できる機材: 溶接機8台、内4台は英国製トランスフォーマー型。

⑥ 取場における外国人等: ILO及びUNT, FSL ILOは本年内終了予定。

⑦ 使用する言語: 生徒に対してはベンガル語、他専門家との連絡は英語。

⑧ その他: 基本実習は電気溶接では中板突合せ及び隅肉溶接では下向立向、上向等、ガス溶接では下向ビードの置入、角溶接及び突合せ溶接、ガス切断等、応用実習ではテーブル、棚、工具箱等の他各種修理。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

1979年より隊員がTTCIに入り、現在6名の隊員(2か所)、ILOプロジェクトが年内終了に伴い、JOCTOの責任が増え、当局もJOCTOの役割には理解を示し、期待は大きい。2代目となる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高専、短大卒以上

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 9 月 12 日

223 溶 接

調査者氏名 江畑 義徳 (江畑)

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タンザニア	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	WELDING	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
溶 接			

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF EDUCATION, ZANZIBAR
(日本語): ザンジバル教育省
- ロ. 隊員勤務先名称: MIKUNGUWI TECHNICAL SECONDARY SCHOOL (日本語名称: ミクングウィ技術専攻学校)
所在地: P.O. BOX 294 主要都市からの距離 (市内より) キロ
- ハ. 事業規模及び内容: イギリスの植民地時代に同国の援助で開設、10年前に技術専攻学校に変更。
現在 CARPENTRY, WELDING, PAINTING, MACHINE TOOLS, ELECTRICAL 等の部門があり、4年コース
生徒数は102名、先生は22名で各コースを受け持っている。
- ニ. 設備概要: 1955年に開校して以来、校舎も古く、設備、教具とも一応揃っているが、これは
このため。

(2) 隊員の業務内容:

- (1) 業務上の地位: 溶接コース教官
- (2) 業務の範囲(形態): 教室での理論の講義とワークショップ(付属)での実技指導が
中心となる。 講義内容としては
ガス溶接、電気溶接、特殊溶接の可能な限り、鍛造技術も必要と
される。
- (3) オウ・ジ・ポート: 着任後決定
- (4) 現地で利用可能な機械: 溶接器具、鍛造、万力及び手工具は一応揃っているが、
- (5) 異国人: ティツマン2名、イギリス人1名(このためジョブ)
- (6) 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

小規模工業分野の技術者は少なく、反面、最近の需要に迫られ、技術者の育成が急務と
なっている現地である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

実務経験10年以上。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和46年4月15日

225 冶金

調査者氏名 坂牧嘉昭

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タイ	(現地公用語) Metallurgy	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 冶金	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education
(日本語): 文部省

2. 隊員勤務先名称: Nakhon Ratchasima Technical College 日本語名称 (ナコーラチャシマ技術学校)
所在地: Nakhon Ratchasima 主要都市からの距離 (バンコクより255キロ)

3. 事業規模及び内容: ナコーラチャシマ(旧名コート)の中いから2kmの郊外に位置している。
日本の工業高校3年間の外 更に2年間のコースが併設されている。
同校の工作機械科240人、溶接科240人 時に冶金コースの生徒も対象とする。

4. 設備概要: 同校には Full Time Course であり 08:00-15:20 までの学舎。
Part-Time Course といはれた 15:20-20:30 までの学舎がある。

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: 教授スタッフの一員

② 技術の範囲: 熱処理と鍛造、冶金工学、硬度試験機器の操作

③ 業務の形態: 工作機械科 溶接科 冶金科の生徒を対象に、
冶金に力点を指導。教育法、教育内容の質的向上、
教材の開発、作業手順書、情報資料等の整備も
おこなっている。教える時間帯は 早朝から夜間まで
あることである。一週間の30時間限りの授業になる。

④ かわい口パート: 鍛造の教師からあるかわい口パートになる予定。

⑤ 利用する機械: 冶金に力点を特に機械を扱う予定。
隊員 ~~到着後~~ 赴任後 校長と相談し、整備する
必要がある。硬度試験器等も使用される。設置されている。

⑥ 邦国人の配置: 10年位おに1人のオランダ人が入るが今はいない。
(自動で整備)

⑦ 使用する言語: タイ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 本校3年に相当する ~~certificate level~~ certificate level の
各学年 360人の学生が ~~在籍し~~ 在籍し、75%は 3年2年卒業する。(就職もOK)
残り25%は 1年おに Diploma level に進む。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件についてO印で囲むこと):

大学で冶金工学を学ば、熱処理の実際経験を有する人が望ましい。
鍛造に関する知識もあれば最適。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 53年 3月 23日

230 繊維製品

調査者氏名 山本 泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語) Hand Loom, Spinning Wheel	(男) 人	訓練開始 56年 9月12日
	(日本語) 手織り機	(女) 人	派遣予定 57年 1月9日
		(どちらでも可) 1人	受入期限 年月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Local Development.

(日本語): 地方開発省

ロ. 隊員勤務先名称: Jkapa Panchayat Development Training Center 日本語名称 (ネパールパンチャヤト開発訓練センター)

所在地: Jkapa, Mechi 県

主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 農村開発のため、事務を担当する書記のコース、農業土木コース、Manufacture コースがあり、3-6ヶ月を研修期間とし、人材を養成している。

ニ. 設備概要: 教室、寄宿舎、作業室、圃場、水田 30a、麦畑 30a、トコシワ、野菜畑、果樹園

(2) 隊員の業務内容:

① 業務上の地位: 教官 (Instructor)

② 技術の範囲: 手織り機、紡ぎ車の設計・製作、保守・操作 (付属部品・製作)

③ 業務の形態: トレーニングセンター内での指導及び近郊農家への普及

④ 対象者、カウンタ: 対象者は Jkapa 周辺の出身者、基礎学力は一般的に低い。カウンタは配置される予定。

⑤ 利用できる機材: 未調査につき、後日連絡する。

⑥ 専門家の配置: なし

⑦ 使用言語: ネパール語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

当パンチャヤトトレーニングセンターでは、他のセンターと違い、手織り機の技術修得コースを設けており、小規模の案内慣行産業の開発をめざしている。隊員には、機械の操作・生産ではなく、改良・工夫、修理技術が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

手織り機・紡ぎ車等の前近代的な器具の原理を理解し、これらの器具を改良・修理できる人であることが望ましい。

<新規要請>

(仮調査表)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 3月 23日

230 繊維製品

調査者氏名 山本 泉

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ネパール	(現地公用語) Fibar Yarn	(男) 人	訓練開始 56年 9月 12日
	(日本語) 繊維加工	(女) / 人	派遣予定 57年 10月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Local Development

(日本語): 地方開発省

2. 隊員勤務先名称: Women's Training Center, Dhankuta 日本語名称 (ダングラ女性職業訓練センター)

所在地: ダングラ

主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: 女性取組は全国に4ヶ所。ダングラ(東部)カトマンズ(中央)ボカラ(西部)スルケト(極西部)にあり、各地域の女性に生活向上のための知識や収入源につながる技術を訓練指導している。

4. 設備概要: 教室、訓練室、寄宿舎他。

(2) 隊員の業務内容:

①業務上の地位: 繊維加工コースの教官(Instructor)となる。

②技術の範囲: Jute, Nettle, Banana等の植物繊維を剥だし加工する。

③業務の形態: トレーニングセンター内での指導。

④対象者及びカウンターパート: ネパール東部地域出身の女性で20歳前後、20人位を1コース(4-6ヶ月)で指導する。訓練生は基礎教育を受けていない者も多く、読み書きの能力は極めて低い。カウンターパートには適当な人材はいない。

⑤利用する機材: 必要最低限の器具のみ。

⑥才三国人の配置: 英国人ボランティアが生活改良普及部門に配置されている。

⑦使用言語: ネパール語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

地方(農村)開発事業の一環として、女性に生活向上のための知識(育児、栄養改善、衛生)を普及し、技術を身につけさせることを目的としている。隊員には、植物繊維の加工について訓練生への技術指導が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

繊維加工の経験者(高度な技術・知識は必要としない)

家政科卒

<新規要請>

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 56 年 4 月 10 日

調査者氏名 大西 規夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タンザニア	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 57 年 1 月
	Dyeing 染色	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): *Ministry of Industry Zanzibar*

(日本語): *ザンザンビル工業局*

ロ. 隊員勤務先名称: *Jitegemee small scale industries* 日本語名称 (ジテゲメ小規模工場)

所在地: *ザンザンビル*

主要都市からの距離 (Zスより60キロ)

ハ. 事業規模及び内容: *織機製糸部門では月産 T-シャツ 500枚、ベスト 700枚がそれぞれ生産されている。現在は染色設備が古いので製糸は自地のまゝである。*

織機部門の従業員数は57名で、うち1名はインドからの専任家(織機行機)がいる。

ニ. 設備概要: *インド製の織物機(13台)、ハンドロップ機、光沢機、ボラー、伏置機、カッティング機(直線、曲線)、ウイッチ(2 NOS)などの設備、機械が揃っている。*

(2) 隊員の業務内容:

染色技術の導入に伴うクラフト

漂白の技術指導

織物及びデザイン技術指導

プリント技術の導入と指導

転写時の簡単なプリント用機材を携行する必要が有る。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

現在 T-シャツ 下着などが生産されているが、これを染色、プリントなどの加工ができておらずに自地のまゝである。これが原因で市場性が弱く大きな悩みとなっている。

これらの技術を導入して市場性を高めることが大きな課題であり、これによって更に生産性を高めることを期待しており、隊員に寄せる期待も非常に大きいものがある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ *染色及びデザインの専門学科卒業生* ○ *実務経験3年以上*

織物の全工程について熟知している者

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

240 印

刷

記入昭和 55年 3月 20日

在日ユバ次調整

調査者氏名 鶴巻法岳

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
REPUBLICA DE HONDURAS	<small>(現地公用語)</small> IMPRENTA Y ENCUADERNACION <small>(日本語)</small> 印刷・製本	(男) 人 (女) 人 (どちらでも可) 1人	訓練開始 年 月 派遣予定 年 月 受入期限 81年 2月迄に現地到着のこと
(1) 配属先 INSTITUTO NACIONAL DE FORMACION PROFESIONAL		国立職業技術庁	
1. 配属先名称 (現地公用語): CENTRO MIRAFLORES (日本語): 職業技術訓練センター			
2. 隊員勤務先名称:		日本語名称 (職業技術訓練センター)	
所在地: TEGUCIGALPA, D.C.		主要都市からの距離 (より キロ)	
3. 事業規模及び内容: 国立職業技術庁 (INFOP) は国家開発計画に基づき産業振興の基礎となる人材の育成 (技術技能者養成) を目的として設立され、1979年より本格的な活動を開始された。 テグシガルパに INFOP 本部があり 国内5か所に技術訓練センターを有する。			
4. 設備概要: 職業技術訓練部門は Tegucigalpa, San Pedro Sula の2か所にセンターがあり、教育指導が行われている。設備は国内企業からの拠出金、国連、西ドイツの援助により約8割は整備されている。			
(2) 隊員の業務内容:			
隊員はテグシガルパ 職業技術訓練センターに配属され、青年(15才~18才)の生徒、INFOP 職員、国内企業(製本)の従業員に対し印刷(オフセット中心)、製本についての講座(理論、実習)を行なうもので必要に応じて印刷の製本所に巡回指導、講習会も実施する。文化、教育の向上、普及には印刷、製本技術は不可欠なものであるが、ホンテラスには専門技術教育を受けたものがおらず、地場産業育成のためにも技術者養成が政府の重要な目標となっている。INFOP は一般民衆のための技術教育機関で中心にしている青年部門は小学校卒業者が入学試験と受けられるシステムになっている。(1クラス15人編成、3年制)			
① 隊員の業務上の地位 = 職業技術訓練センター教師、指導員			
② 技術の範囲 = 指導対象者が小学校卒の一般民衆と国内企業の従業員が中心であるところから高度な技術は必要としないが実務経験が最低3年以上は必要と言える。印刷(オフセット)、製本の知識、技術経験に加え他の印刷技術、写真の基礎技術、編集技術も指導上不可欠である。教材書、教材の作成、授業計画(年間、講習会)も現地事情に合わせ考案、実施ある。			
③ 業務の形態 = 訓練センターの時間割、午前7:00~午後3:00(青年部門) 午後6:00~8:30(従業員再教育)			
④ 対象者 = INFOP 生徒、職員、国内企業従業員			
⑤ 現地で利用できる機材 = 指導、実習に必要な機材は8割程度整っているが教材書、マニュアル類が少くない。基礎指導書を携行の上、必要後隊員自身が研究し、現地に合わせた指導法を考案する。			
⑥ 専門家の配置、西ドイツ専門家(印刷、製本部門にはなし) ⑦ 使用言語、スペイン語			
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:			
国家開発計画において教育、技術の向上と地方普及は最大の課題であり目標である。印刷、製本部門には現在まで技術者が育っておらず、技術普及、教材作成、現地側技術者育成と、技術教育、指導法に優れている日本の青年に対する期待は大きい。			
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):			
高卒以上、実務経験3年以上は絶対条件。印刷、製本技術の他、写真、編集に関する基礎知識及び経験を有すること。職業訓練指導員資格があればなおよい。			

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

ネンジュラヌ

25001 プラスチック成形

記入 昭和 56 年 1 月 9 日

調査者氏名 田安 永老

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ホンデュラス	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	Industria Plástica	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
プラスチック成形			

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Instituto Nacional de Formación Profesional (INFOP)
 (日本語): 国立職業技術庁

ロ. 隊員勤務先名称: Centro Fijo No. 2 日本語名称 (サンペドロスラ訓練所)
 所在地: San Pedro Sula 主要都市からの距離 (首都より270キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 首都テグシガルパに大規模の訓練所を職員約100名から成る。同訓練所にはプラスチック科の他、自動車、機械、溶接、配管、製靴、羊織、ラジオテレビ修理、印刷、製菓の各科があり、その他、農業、経理関係の講座も設けられており、初級から中級程度の訓練を実施している。

ニ. 設備概要: 各科共、相当の設備機材を所有している。プラスチック科は工場(10m×10m程度)の他、基礎工具、実習教育用機材(射出、押出、圧縮etc)を購入しているが現在その金では足りていない。

(2) 隊員の業務内容: INFOPでは教育訓練コースが①15~18才の未経験者の技能教育(2年)、②一般成年の未経験者の技能教育(6か月程度)、③該当職種の新入者技能再教育(1~2年)に3区分されている。プラスチック科では現在②についての講座を実施しているが将来は③についても行う予定。尚、講座は多成形(射出、押出、圧縮etc)ごとに分けられているので③のコースは成形法ごとに講座が分れる。

① 業務上の地位: 対外的には技術顧問。実際は教室として授業を担当。

② 技術の範囲: 押出成形の成形技術、機械の保守点検を中心に射出成形、金型についての一般基礎知識、技能。

③ 業務形態: 担当教室として授業、実習を担当。その他、各社からの相談に対し助言、指導をする。授業は普通夜間となり、実習は設備機材が教育用のため充分でなく、昼間、各工場を回って直接指導をする。また教科書の作成が義務づけられているため、当初はそれが大変な仕事のひとつとなる。

④ 技術水準: カウンターパートはINFOP機械科教師の予定で中程度。但しプラスチックに関しては全く知らない。受講生は大半が小中学校卒で特に計算・算数、専門技能についても職務だから、習得しているため、自らの仕事以外は基本的な事項でもお判り知らない。年齢は18~35才位。

⑤ 利用される機材: プラスチック科にある機材の他、申請すれば他科のものも使用可能。ほとんどのものは足りている。

⑥ 外国専門家: なし ⑦ 使用言語: ス페인語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 同科は新しい業分野の一つで現在サンペドロスラ市に7~8社、テグシガルパ市に6~7社、成形加工会社があるが規模は教員の外資系を除き小さい。射出、押出成形を主にその他圧縮、ブローの各成形が採用されているが、設備は射出、押出成形で日産数個、PVC、PEI、PP、PA、PE系を生産。各社共技術者がいないため種々の問題処理の指導、情報提供、現場労働者の再教育を望んでおり、その対象層は大きくはないが、現地の工業分野の金銭指導をおこなうことになり、また各社からの期待大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): プラスチック成形一般についての実務的基礎知識、技能が必要 ① 学歴: 高卒以上 ② 資格: プラスチック技能検定2級があれば尚良い。③ 実務経験: 押出成形部門で2~3年。金型工作加工経験があれば尚良い。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 3 月 21 日

30103 地質調査

調査者氏名 鈴木高志

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
エチオピア	(現地公用語) Geology	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 地質調査	(女) 人	派遣予定 昭和 57 年 2 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 昭和 57 年 2 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

(CONSTRUCTION)

イ. 配属先名称 (現地公用語): THE ETHIOPIAN WATER WORKS AUTHORITY WATER WELL DRILLING AGENCY

(日本語): 水資源省地下水開発局

ロ. 隊員勤務先名称: HYDROGEOLOGY SECTION 日本語名称 (水理地質部)

所在地: 首都 アジス アベバ 市内 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: WATER WELL DRILLING AGENCY とは、日本の円借款で出来たもので

DRILLING MACHINE 車、ポンプ、水中ポンプ、すべて日本製。

DRILLING RIG ... ROTARY 2台、PERCUSSION 4台、従業員 100名程度

ニ. 設備概要: 本部と支部とに分れている。本部... 鉄筋 4階建、(水理地質部は2階に位置)

支部... ガレージと倉庫。(主に、車、ボリング機械の修理を行う) 敷地約 40000m²

(2) 隊員の業務内容: 振撃地質の調査及び振撃地質の選定に当る。電気探査を主体に

して調査で、加えて地質調査も行う。これらの報告は全て英文で行いデータを提出する。

他に、振撃に関するトラブルの解消についてのアドバイスも求められる時もある。

①. 隊員の業務上の地位

水理地質部では、Drと同等の地位で、いろいろ話し合いながら決定が行われる。

②. 技術上の範囲

地質全般について知っている事、特に電気探査については、十分な知識及び経験が

必要。他に、揚水試験における水理解析、ボリングに対する知識も必要

③. 業務の形態

地方の各省から、地下水開発の要請があり、その要請に基づいて、地質調査の為に出発する。

出張は常に車で必ずドライバーが付き、首都から 300km ~ 800km の出張が主。

④. 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢

カウンターパートは地質の Dr がおり、又 Drilling 分野には アジスアベバ大学を出た

技師が担当しており、技術水準はかなり高いものがある。Dr ... 45名位、技師 ... 31名

⑤. 現地で利用出来る機械材 ... 全部そろっている。

⑥. 職場における才力日本人及び日本専門家の配置状況 ... 無し。

⑦. 使用する言語 ... 出張時はアムハラ語、アジスアベバ事務所内 ... 英語が主

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

現在、地質調査及び物理探査を担当する専門家が 1名しかおらず、後継者が育

ていないこと、夕忙の仕事にのみ、ボランティアの要請がある。受入国の期待としては、

1井 1000万円以上もする振撃井の開発可能性の向上が主な期待。その為にも、日本国内での

十分な経験と知識が要求される。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

①. 学歴 ... 大学卒、地質学専攻

②. 取得資格 ... 車の免許

③. 実務経験 ... 大学卒業後、3年以上の実務経験を必要とする。

(特に電気探査、検層を熟知すること)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 2月 25日

311 工作機械

調査者氏名 **新保昭治**

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	Machine Tools	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限57年 1月迄に現地到着のこと
工作機械			

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): National Manpower and Youth Council (NMYC)
(日本語):

2. 隊員勤務先名称: Office of Manpower Skills Development (日本語名称) (国立中央職業訓練校)
所在地: Fort Bonifacio, Taguig, Metro Manila (主要都市からの距離 Manila より 5キロ)

3. 事業規模及び内容:

フィリピン国 労働省の管轄で out of school youth, 地方訓練校の教官、大学生を対象とした職業訓練指導を行っている。

4. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

1) 隊員の業務上の地位: 機械科教官のアドバイザー

2) 技術の範囲:

3) 業務の形態: インストラクターと協力しての職業訓練教育全般
手仕上げとフライス盤、キリはその他コースを兼務しながら機械科全体のカリキュラム編成

4) 対象者及びカウンターパート:

訓練生は Out of school youth が主体で一般に基礎学習が中心である。カウンターパートは大学生で一般の加工は出来るが理論的にはまだ未だである。

5) 現地の利用出来る機材:

6) 通3国人: 1979年3月オランダのボランティアが居るか現在はいない。

7) 使用の言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 佐藤久夫隊員(54/4)の交待要請

現在4つのコースを開設しているがセッティングが進むにつれて機械科全体の授業計画と各授業内容の精選レベルアップが必要になって来ている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学は高等職業訓練校卒業後職業訓練指導に従事した経験がある事。出来ればカリキュラム編成が可能な人を望む。現地到着時 25才以上。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

新保昭治

311 工作機械

記入昭和 55年 2月 日

調査者氏名 伊藤 衛佐

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語) Machine Tools	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 工作機械(精密加工)	(女) 人	派遣予定 年 月
	(どちらでも可)	人	受入期限 56年2月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): National Manpower Youth Council (N.M.Y.C.)

(日本語):

ロ. 隊員勤務先名称: Office of Manpower Skills Development 日本語名称 (国立中央職業訓練校)

所在地: Fort Bonifacio, Taguig, Metro Manila 主要都市からの距離 (マニラより 5 キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

ニ. 設備概要: 別紙参照

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位: 機械科の教官及びアドバイザー

② 技術の範囲: 現場技術のみならず広範囲な技術
(精密加工についての知識があり, 工具研削盤, 平面研削盤, 円筒研削盤, フライス盤, 旋盤, E.D.M. 等が扱えることよ)

③ 業務の形態: 訓練の開発

(当訓練所は地方センターの100%アウトセンター的役割を担っている)
Out of School Youth に適した訓練を当センターで開発して地方センターへそのノウハウを波及することは意味のあることと考える。

④ カウンターパートの技術的水準: 技術系大学卒, 一般企業で働いた経験あり
技能水準は地方センターのインストラクターに比較すると高い, 数学等に弱いと言葉としては豊富な知識をもつ, ただそれが正しく理解されていると実際に役立つ技術となっているかは疑問である。

⑤ 職場における第3国人等: いなし

⑥ 現地で利用できる機材: 別紙参照

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

Out of School Youth に対する効果的訓練の開発, 人的・物的両面にわたる訓練環境の整備

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

実務経験が最低3年以上の人を望む。

日本の職業訓練所, 工業高校, 企業内訓練所等で指導経験があるとよい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

311 工作機械

記入昭和 55 年 7 月 2 日

調査者氏名 真野 志江

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	Mechanical Engineering	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語) 工作機械	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education

(日本語): 文部省

ロ. 隊員勤務先名称: Sekolah Menengah Teknik 日本語名称 (普通工業高校)

所在地: Johor Bharu 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 中学卒業生を対象とした 2年課程の工業高校

ニ. 設備概要: 旋盤 16台, 形削盤 2台, 立273mm・横73mm各1台, 金切のこ盤 2台, ボール盤 2台, グラインダー 6台, Drill stand 1台, P-7溶接 2台.

(2) 隊員の業務内容:

中学卒業程度の生徒に機械工作, 加工, 溶接, 切断, 板金工作の
実習指導に協力する.

生徒は 職業訓練高校の生徒と違い成績の良いものが来たり日本の
工業高校にある, 1952 20名~30名の生徒数

教師は 技術教員養成大学卒業生で企業での実務経験がある.

授業は マレー語で行われる

特に構行に必要とする材料は.

以前比嘉清順 (工作科) 隊員が活動していたことがある

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

当地の教師は 産業実務経験が乏しく知識は 専門書のみ依存に
いる. 実務経験豊かな隊員から進んだ技術も吸収すると共に 校風
確立のため日本人の勤勉の姿勢を学ぶことにしている.

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

短大卒以上.

実務経験 2~3年以上.

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年9月11日

311 工作機械

調査者氏名 吉満博

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語) Machinshop Practice (Drilling & lathe)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 工作機械	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): ~~Technical Secondary School~~
(日本語): 工部省

ロ. 隊員勤務先名称: Technical Secondary School 日本語名称 (工業高等学校)
所在地: Kuala Lumpur (Cheras) 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 日本の工業高等学校に相当する学校で全国に9校あり中の1校であり, Form 4 - 8732 320人 Form 5 - 8732 320人 Form 6 4732 200人の生徒がいる。教師数 42名

ニ. 設備概要: 手作業及び機械作業の二つの実習場がある。機械作業室には旋盤フライス盤 型削り盤の設備が設置されている。

(2) 隊員の業務内容:

機械科において手作業及び機械工作の学校指導を中心とし、工作機械に関する基本的理論について授業を行おう。

現在は fitting を中心とした授業が行われているが、校長は machine 全体について教えてくれることを期待している。また政府から出される学校試験のための訓練指導を元来して合格率を高めることを望んでいる。

学校指導の詳細

手作業はヤスリを用いての課題製作の指導、機械作業は旋盤を中心にしてフライス盤 型削り盤を用いての課題製作の指導を行おう。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

日本人の勤労性、規律、創造性等 技術以外の人格的側面での指導も求められている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 手作業及び工作機械全般の基本技能の訓練指導可能者、工作機械の保守及修理の技術を有する者(経験者) 技能性に富み生徒、教師をリードしている者

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 55 年 10 月 17 日

311 工作機械

調査者氏名 表 伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 56 年 4 月
	Machinist	(女) 人	派遣予定 56 年 8 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 56 年 8 月迄に現地到着のこと
	311 工作機械		

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Bureau of Manpower, Employment and Training (BUMET)
(日本語): 労働社会福祉省職業訓練局
- ロ. 隊員勤務先名称: Technical Training Centre, Milpur. 日本語名称 (ミルプル職業訓練センター)
所在地: Milpur, Dacca. 主要都市からの距離 (ダッカより) キロ
- ハ. 事業規模及び内容: 1953年開設の37年の歴史を有する最も古い取組。現在はラジオTV、エアコン、自動車、建築装具、機械装具、工作機械等約1,000名の生徒50名の教師。
- ニ. 設備概要: 国庫援助等により施設は整備されている。フライス盤、旋盤等20数台完備。

- (2) 隊員の業務内容: 42次5カ年計画は1980年よりスタートし、10カ所の新設取組を予定しており、工作機械は Comilla 取組所配属として要請された。80年7月南校を自費し建設を進めているが、遅れることが予想され、遅れた場合、当ミルプル取組所=2箇所=となり、様を見ながら Comilla 赴任となる。
- ① 隊員の業務上の地位: 校長下の教官
 - ② 技術の範囲: Machinist コースは General Mechanics コースに別々。同コースは主に組立、据付にあたる。Machinist コースは工作機械の操作にあたるが、6ヵ月コースであり、基本的操作に止まる。
 - ③ 対象者及びカウンターパート: 生徒は10学年卒、約100名
 - ④ 現地で利用できる機械: 上記設備
 - ⑤ 取組所における外国人等: 現在なし
 - ⑥ 使用語: ベンガル語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 上記の通り、取組所長は取組全体に JOCV を希望しているが、現在建築中の学校は遅れることが想定されているが、ミルプル取組所校長もかなり強く希望していることから、本要請となった。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高専卒以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 10月 28日

311 工作機械

調査者氏名

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Machine Tools	(男) 1人	訓練開始 56年 4月
	(日本語) 311 工作機械	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 56年 8月 受入期限 56年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Water Development Board, Ministry of Water Resources
(日本語): 治水水資源省

ロ. 隊員勤務先名称: Dheramara Mechanical Equipment Division 日本語名称 (ベラマラ機械設備工場)
所在地: ベラマラ 主要都市からの距離 (ダッカより) 50キロ

ハ. 事業規模及び内容: クスタフ地区ガンジス河灌漑計画に基づく用水路支路に設ける水門とそれに付随する機械装置の製作。用水路掘削工事のためのクレーン、ブドーザ等建設機械部品の製作等。所長1、課長4、班長1、機械部門は機械工16人。

ニ. 設備概要: 旋盤 1.5m-38, 3m, 6m各1台。フライス盤, 江パー, スロッター, ラジアルドリル, クランクシャフトグライディング, 水平ボールグ, シーリング, プレートバンディング, 自動アーク溶接機, 遠心鑄造機, 熱処理

(2) 隊員の業務内容: 炉等昨年オランダの援助で届け。他にエンジン修理, 仕上等の部門がある。

3代目となるが、初代より、ベアリング, エンジン用ピストン, ピストンリングの製作が要望されてきたが、79年オランダからの機械到着により、初めてスタートする可能性が出てきた。エンジン、インターバル部品, 電力送電用鉄柱等の製作を予定しているが、材質, 経済性は度々視されている。又、機械設備の操作, 保守指導にあたる。

① 業務上の地位: 工作機械工場の技術面のアドバイザー。課長同格

② 技術の範囲: 工作機械全般の広い知識と技術。エンジン関係に詳しい。良い。

③ 業務の形態: 工場での機械工への技術指導

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準: 20~35歳までの学歴なしから短大卒まで。経験年数10年以上数人。経験なしの者が10名加えられた。

⑤ 利用する機械: 上記設備概要に同じ。

⑥ 外国人専門家: 新工場設置のためオランダ人2人12月中旬まで。その後なし

⑦ 使用する言語: ベンガリ語, 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: エンジン関係のインターバル部品の製作をいけておく。各省からの受注が予定されており、機械工の技術レベル向上にJICAの協力が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高卒以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 4 月 10 日

311 工作機械

調査者氏名 大西 規夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タイ	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	<i>Mechanical engineer</i>	(女) 人	派遣予定 57 年 1 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
機械技師			

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): *Ministry of Industry Bangkok*

(日本語): サマソバニル工業省

ロ. 隊員勤務先名称: *Titegemee small scale industries* 日本語名称 (シテゲメ小規模工場)

所在地: サマソバニル 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 機械部門は1976年に開設され、シテゲメ工場内の各種機械の部品を製造しているほか、サマソバニル内で使用される船舶、建設機械などの部品も製造している。

現在8名のテクニシャンがあり、うち1名は日本人専門家(メカカルエンジニア)がいる。

ニ. 設備概要: 機械設備は金型2台、鍛冶旋盤、220V-3相フライス盤、220V-3相ドリルマシン、電気溶接機、ハンズ切り刃鋸、製氷ドリルなどが揃っている。

(2) 隊員の業務内容:

各種機械部品の設計・製造

現地人のテクニシャンに対する技術指導

機械部品の精度と強度が要求されるが、熟練者がいないため、

各部門からの要望に応えられないのが実態であり、特定のカウンターパートを持つのはなく、全般的に技術指導が任務である。

赴任時の工作機械の専用工具を携行する必要はある。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

メカカル部門はシテゲメ工場の大命脈であり、不可欠な部門である。特に当国のような発展途上の国では、自国での供給策しかない。

しかし、現地人技術者の技術水準が低いので、工場内の要望に応えられないのが実情で、隊員の要請となったのであるが、大抵の期待度を非常に高い。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 機械専門学校卒業 ○ 実務経験3年以上 機械熟練可能者

工作機械全般について使用可能者

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 2 月 10 日

311 工作機械

調査者氏名 稲田武司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウ	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始 <u>55</u> 年 <u>10</u> 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 <u>56</u> 年 <u>2</u> 月
	MACHINE TOOLS 工作機械	(どちらでも可) <u>1</u> 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 工業補給省

1. 配属先名称 (現地公用語): PLANT & VEHICLE HIRE ORGANIZATION

(日本語): 車両自動車貸借所

ロ. 隊員勤務先名称: LU WORKSHOP OR BT WORKSHOP 日本語名称 (トラック又は自動車工場)

所在地: 1102 区又は 1104 区 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

ニ. 設備概要: RADIAL DRILL, VERTICAL BORER, LATHE, MILLING MACHINE
SHAPER, SURFACE GRINDER, CRANKSHAFT GRINDER, GEAR HOBBER

(2) 隊員の業務内容:

1. TECHNICAL OFFICER

2. 上記ニ. の工作機械の操作, 維持, 調整。

3. 上記 2 と共に マラウ スタッフ の訓練にあたる。

5. 〃 参照

6. 仏語
7. 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 工科大学以上。

② 資格については特に問われないが (1) ニ. に記した工作機械に通じている事。

③ 英語を 5 年以上。

④ 年齢, 25 才程度

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和54年9月6日

312 冷凍機器

調査者氏名 神谷弘司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン共和国	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	Refrigerators and Air Conditioning	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語) 冷凍・空調機器	(どちらでも可) 人	受入期限 55年8月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): National Manpower and Youth Council (NMYC)
(日本語):

ロ. 隊員勤務先名称: Office of Manpower Skills Development (OMSD) (国立中央職業訓練校)
所在地: Front Bonifacio Taguig, Metro Manila (主要都市からの距離 (マ) より 5 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 国立中央職業訓練校 (ILO, UNDP) の共同プロジェクト
out of school youth, 地方訓練校の教育, 工科大学の教育, 一般企業人を対象とした職業訓練指導を実施する。なお地方に 10 の Training Center がある。

ニ. 設備概要: 国立ILOからの機材援助により、主要設備は整備済み。当冷凍機器
新しく増設されたほか他課と比較してLV-2用機材は不足分があるが、この点にILO機材到着

(2) 隊員の業務内容: 隊員は専門技術のエキスパートとして、現場の業務に深く関与する。

① 隊員の業務上の地位: JOCV expert.

② 技術の範囲: 冷凍空調に関する LV-2 用機材の修理 (MOCK-UP, MODEL BOARD 等), インストラクターとしての UP-grading 教育, 2 人の分野に技術全般に亘る。

③ 業務の形態: 冷凍空調の健全化調査, LV-2 用機材の作製, インストラクターとしての直接教育の中心となる。

④ 対象者の心身の状態: インストラクター 2 名 (臨時) で技術程度は低い。

⑤ 現地で利用すべき: 13 の LV-2 用家庭用冷凍庫 6 台, 同 7-8 台, カーエアコン用 MOCK-UP 3 台, パッケージエアコン用 LV-2 ボード 1 面, 電気溶接機 1 台, スポット溶接機 1 台, PCBV 溶接機 2 台, カーエアコン用 エンジン 5 台, 同 7-8 用ユニット 5 台, 同特殊工具 2 台。

⑥ 外国人等: なし。

⑦ 使用状況: 業務。
* 現存品には家庭用冷凍庫 エンジンとカーエアコン エンジンとがあり、今年度末からは新エンジン (商業用冷凍・空調) 増設の準備が進められていく。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 猪野毛博昭隊員 (副後期、冷凍機器) の退職準備
ILO が当プロジェクトを去るに当たって健全な当施設を計画しており、又、特に当施設時代の隊員が施設に貢献しており、完全に健全な施設を期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

1. 高卒以上で実務経験が5年以上あり、特に修理の経験が豊富でよいこと。
2. 冷凍各種以上の資格又はこれに同等の能力を有する人。
3. 英語力があること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 10月 2日

312 冷凍 機器

調査者氏名 新保 昭三

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): *Southern Philippines Development Administration*
 (日本語): 南部フィリピン開発機関

2. 隊員勤務先名称: *Mindwa Refrigeration Industries* 日本語名称 (*Mindwa* 製氷工場)
 所在地: *Zamboanga city* 主要都市からの距離 (—より キロ)

3. 事業規模及び内容:

製氷能力 40ト/日のプラントと、300ト用の冷凍庫があり従業員約 20人。(臨時雇含む)

4. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の業務上の地位: 南部フィリピン開発機関に属する製氷部内のPTバスター

② 技術の範囲: 製氷プラントに対する設計能力が必要

③ 業務の形態: 技術者に対する技術指導

④ 対象者及びその方: 4-ポードの技術水準工場及び命令: 対象者の工場、技術者があるが、工場内の学校を卒業した者が多いが、技術水準は低い。

⑤ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ミンダナオ開発は国の重要施策の一つであり、地味住民の生活向上が目標である。特に流通機構は未整備であり、冷害を克服するには必ず氷が必要であり、その需要は多い。従って工場、拡張の当否の緊急課題であり、技術の進歩が日本に期待するに大である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

実務経験 2年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和55年9月12日

312 冷凍機器

調査者氏名 御園 直道

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語) Penyamanan Udara dan penyejukan	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語) 冷凍空調	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Kementerian Pelajaran

(日本語): 文部省

□. 隊員勤務先名称: Sekolah Menengah Vokasional 日本語名称 (職業訓練学校)

所在地: Jalan Sungai Abong Muar, Johor 主要都市からの距離 (4Pより5キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 教師数: 約50名

生徒数: 男子 500名 女子 100名 (約80%が寮生)

家政科, 電気科, 木工(レック)科, 音楽科, 工作機械科

ニ. 設備概要:

自動車科, ラジオTV科, 冷凍空調科で構成されている

(2) 隊員の業務内容:

○この科の生徒は一周間に理論12時間, 実習19時間, 製図4時間, アカデミック16時間し, 合計51時間(1時間40分授業)の授業を受けている。J.O.C.Vの隊員に配属された場合は, 上記のうち, 実習のクラスを担当する事になる。

隊員の現地取員と同等の立場で扱われるが, 実習時間には一つのクラスに二人の教師がはいる事になっているので, 一人一つのクラスをまかせられると中心を配はるべき。

授業はマレーシア語で行われる。

○この科に在籍する5名の教師は22才-30才, 全員教師養成大学(三年制)を卒業しているが, 学校以外の実務経験はない。

○現地不利用未熟な機材: walk in cooler

大きさ 2m x 3m x 3.6m

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

現地取員は下記に併列記した日本人からの新しいアドバイス, アイデアを求めている。

① Duct Design

② Heat Load calculation

③ Motor control

④ Piping Design

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

学歴: 大学卒

取得資格: 特にIT

実務経験: 3-5年

年齢: 25才以上

性格: 明朗快活

隊員の技術水準: 一つのメーカーの冷凍機器に特化していると申すのでは

なく, どのメーカーの機器も一応二台せると申すを望んでいる

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 9 月 11 日

312 冷凍機器

調査者氏名 真野 志行

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マレーシア	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	Refrigeration & Air Conditioning	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語)	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと
	冷凍空調		

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Education, Technical & Vocational Education Dept.
(日本語): 文部省技術職業訓練教育局

ロ. 隊員勤務先名称: Sekolah Menengah Vokasional 日本語名称 (職業訓練高校)
所在地: Kangar 主要都市からの距離 (北より 611 キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 中学卒業者を対象として、2年課程の職業訓練高校
冷凍機器、ラジオ・TV修理、電気工事、工作機械、自動車整備、溶接の
各コースがある。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

中学卒業程度の生徒を対象に冷凍機の修理に関する実習指導に
協力する。

授業に使っている教材は、104-2型「ヤシ」や家庭用電気冷蔵庫であり
冷凍空調の理論説明等、教材作りなどの利用方法について協力する。

生徒は、中学卒業時時点で上級校への進学資格が得られず、
就職に偏り、職業的技術習得を志す者が一般的に学力が低い。

授業は、マレー語使用。

工具類は一通りそろっているので、携行すべき機材はない。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

当地の教師は産業実務経験が乏しく、知識は教科書などに依頼
している。

実務経験豊かな隊員から進んで技術を吸収すると共に校風確立のため
日本人の勤労の姿勢を学ばせたいとしている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

専門高校卒業以上 実務経験2年以上。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 10 月 17 日

312 冷凍機器

調査者氏名 表 伸一郎

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
バングラデシュ	(現地公用語) Refrigeration and Air Conditioning	(男) 1 人	訓練開始 56 年 4 月
	(日本語) 312 冷凍機器	(女) 人	派遣予定 56 年 8 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 56 年 8 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Bureau of Manpower, Employment and Training (BUMET)
(日本語): 労働社会福祉省職業訓練局

ロ. 隊員勤務先名称: Technical Training Centre, Mirpur 日本語名称 (ミルプール職業訓練センター)
所在地: Mirpur, Dacca 主要都市からの距離 (ダッカより キロ)

ハ. 事業規模及び内容: 1953年開設の最も大規模な職業訓練。現在はラジオTV, エアコン, 自動車, 機械製図, 工作機械, 木工, 建築製図, 電気工事, 溶接, 鑄造等11コース, 約1,000名の生徒, 50名の教師。

ニ. 設備概要: 国連援助等により施設は完備している。エアコンの他, 米国整訓練ユニットも有。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 隊員の業務上の地位: 校長下の教官
- ② 技術の範囲: 窓型エアコン修理技術が中心。集中冷房も希望し。その訓練は一部あるが, 60日コースでは無理。冷蔵庫も対象(家庭用)
- ③ 対象者及びわかりのレポート: 生徒は10学年生 70名, 教師3名
- ④ 現地で利用できる機械: 上記 Commercial Refrigerator Training Unit Model 9501 の他 エアコン, 冷蔵庫
- ⑤ 取場における外国人等: 現在なし
- ⑥ 使用語: ベンガル語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 実技に強い教官確保が急務であり 本要請と併せて

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

高専卒以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 8月 24日

312 冷凍機器

調査者氏名 平沢昭男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
スリランカ	(現地公用語) Refrigeration & Air-conditioning Engineering	(男) 1人	訓練開始 年 月
	(日本語) 冷凍空調	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Youth Affairs and Employment
(日本語): 青年雇用省

ロ. 隊員勤務先名称: National Apprenticeship Board 日本語名称 ()
所在地: 4 & 6, Dharmarama Road, Colombo-6 主要都市からの距離 () キロ

ハ. 事業規模及び内容: 年予算 4100万ルピー。1971年に輸出促進政策により翌72年に設立され、青年一般企業における on-the-job training (4年間) に派遣した後、コースを修了したものは技術修得を証する修了証を発行し就職に糸口を作っている。

ニ. 設備概要: Boardの事務所は建物以外。

(2) 隊員の業務内容:

1. 隊員の業務上の地位: Inspector

2. 技術上の範囲: 家庭用冷凍冷蔵庫やエアコンの修理等に使われている空調システム、大型冷蔵庫の理論と、保守・修理の実際経験が求められる。

3. 業務の形態: 当該分野の工員としての養成コースで、4年のうち6か月を Technical College での基礎訓練にあて、残り期間を各企業の工場に訓練を依頼して行なっている。隊員はこの訓練のやりかたをわかっていけるか、又、訓練生が目的の技術自身を身につけていけるかがポイント。

4. キャрьер-ポート等: 特定でいる人物はいないが、いしに仕事をする Inspector は大学工学部卒業後実務経験 3年程度を有しているが、2年間のうち短大コースを終了し、8年程度の経験も有するものが年令は 25~30才くらい。

5. 現地で利用される本機材: 特になし

6. 母国の人等: いなし。

7. 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

スリランカでは工場又は所の修理などで働ける工員が不足しており、このコースは、特にどういふ仕事にこの実践技術自身を身につけてほしいものに設置された。現在進められている自由貿易地帯が生まれ上ると、多くの企業が進出してきておくと見込まれ、よへの人材育成の点にも NAB の活動が重視されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○専修 実務経験 5年以上 単車免許

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 54 年 3 月 日

312 冷凍機器

調査者氏名 新田慶子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始 <u>54</u> 年 <u>10</u> 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 <u>55</u> 年 <u>2</u> 月
	冷凍機器	(どちらでも可) / 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Works & Supplies

(日本語): 工業補給省

ロ. 隊員勤務先名称: Plant & Vehicle Hire Organization 日本語名称 (重機自動車賃貸局)

所在地: Blantyre

主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

マラウイ南部地区の政府関係の設備の修理・保守・管理

ニ. 設備概要: 一般機械修理設備、冷凍機器修理設備、木工設備、ガス電気溶接設備、ペイント設備、電気設備 (英国製が95%)

(2) 隊員の業務内容:

家庭用冷蔵庫、工業用冷蔵庫、アイスメーカー、空調設備等の修理・保守・管理。

- ① Mechanical Supervisor
- ④ カウンターパートはいる
- ⑦ 業務を行つた上で不足はなし
- ⑥ 英国人の Chief Mechanical Supervisor 1名
- ⑦ 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 専門学校卒以上
- ② 実務経験2年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 54年 9月 10日

312 冷凍機器

調査者氏名 田中研一

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
HONDURAS	(現地公用語) ACONDICIONADO	(男) 2 人	訓練開始 年 月
	REFRIGERACION Y AIRE	(女) 人	派遣予定 1980 年 8 月
	(日本語) 冷凍空調	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先 INSTITUTO NACIONAL DE FORMACION PROFESIONAL 国立職業技術庁

イ. 配属先名称 (現地公用語): "CENTRO SAN PEDRO SULA"

(日本語): サンペドロ・スーラ 職業技術センター

ロ. 隊員勤務先名称: "CENTRO SAN PEDRO SULA"

日本語名称 (サンペドロ・スーラ 職業技術センター)

所在地: SAN PEDRO SULA

主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: サンペドロ職業技術センターは、十二学科を有する同国有数の職業教育施設である。生徒数約 500名、教官数約 50名である。冷凍空調科は、生徒数約 30名、教官数 3名。

ニ. 設備概要: 一元の教育用設備、工具類が備えられているが、十分ではない。

(2) 隊員の業務内容:

国立職業技術庁長官から「協力隊員は、単なる協力アシスタントとしてではなく、教官の一員として研修を受け、同時、同量の仕事をしてほしい。」と述べられているように、ホンジュラス人教官とほとんど変わらない内容の職域及び地位が与えられている。着任後 2ヶ月間の教育研修 (①教育原理 ②指導法 ③指導実技 ④評価) をホンジュラス人新採用教官に混って受講のうえ、その授業を担当させられるシステムが採られている。現在、午前 7時から午後 4時まで授業が行われているが、将来は夜 9時迄の夜間講座も開かれる予定。

① 隊員の業務上の地位: サンペドロ・スーラ職業技術センター 教官

② 技術の範囲: 日本の職業訓練校の冷凍空調科レベル

③ 業務形態: 日本の職業訓練校 教官と同様、同等の仕事

④ 対象者及びカリキュラム: プリンティサへと呼ばれる初級コース (18才前後) を指導する。

ホンジュラス人教官は優秀であり、互いの協力が不可欠。カリキュラムの人材は心配なし。

⑤ 現地設備: 空調モデルや必要工具が導入されているが、環境が不足している。

⑥ 職場のオーストラリア人及び日系専門家: 直接冷凍空調科には関係はないが、ドイツ人が数名。

⑦ 使用言語: スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 新想要請。

市場の冷凍施設は、ほとんど見られず、生活水準の向上により、こうした機器の需要は増大の傾向にあり、その修理技術は強く求められている。INFOP のセクターとて、毎年生徒数を増加していく方針のため、教官の絶対数が足りず、協力隊員にかける期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① 専門学校 卒以上 実務経験 4~5年

② 年齢は 25才以上 (これはホンジュラス人教官とのバランスから)

③ 職業訓練指導の経験が乏しい場合は可。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 2月 18日

31502 視聴覚機器

調査者氏名 伊藤 英明

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
西サモア	(現地公用語)	(男) 人	訓練開始 年 月
	Audio-Visual Resource Technician	(女) 人	派遣予定 57年 1月
	(日本語) 視聴覚機器	(どちらでも可) / 人	受入期限 57年 1月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Education Department

(日本語): 文部省

2. 隊員勤務先名称: Western Samoa Technical Institute 日本語名称: 技術高等職業訓練校

所在地: Vaivase, Apia

主要都市からの距離 (ptopより) 5キロ

3. 事業規模及び内容: 1963年に設立された西サモア唯一の2年制職業訓練校に在り。生徒数 170名 (1年生: 100名, 2年生: 70名)。訓練科目は、電気工学、自動車整備、工作科、溶接、板金、屋内配管、木工、商業工等である。

4. 設備概要: 日本の中程度、職業訓練校と同水準の設備を有する。

(2) 隊員の業務内容: 上記訓練コースに関し、視聴覚機器を使用する場合に必要となる教材の作成と共に、コンピュータの技術指導。

① 業務上の地位: 技師 (Technician)

② 技術の範囲: a) 視聴覚教育に必要とする各種教材の製作技術 (能) が求められる。
b) 視聴覚機器の修理技術は、必要とされないが、保守管理は必要である。
c) デザイン等アートワークの技能が求められる。

③ 業務の形態: サモア人コンピュータと共に、教材の作成に在る。

④ 対象者: 各コースの生徒と共に教官。

⑤ 利用する教材: オバーヘッドプロジェクター (オラニ製 MODEL 1200), O.H.P用原図 (5枚) 作成複写機 (MODEL Rex-Rotary 2202), 同原図印刷機 (米製, 3M BRAND), スライドプロジェクター (ELMOS-300), 投影機 (オラニ製 Classmaster II), 映写機, 印刷機 (MODEL Gestetner 360), 手動式印刷機 (ドイツ製 Geba 4405) 等。

⑥ 本国に在る日米専門家: ニュージーランド1名, PVCA平和部隊隊員, 国連平和部隊3名, 協力隊員3名

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 各コース授業に、視聴覚機器を導入しようとしているが、各種教材の使用 (利用) 方法が理解できないため、ほとんどの教材は放置されたままになっている。従って、隊員にはこれ等教材の扱い方を教示し、視聴覚教育そのものの導入が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

学歴は問わない。
視聴覚教育に携わった経験のあるものが望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和56年4月10日

320 電気工事

調査者氏名 大西規夫

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タンザニア	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	Electric Works	(女) 人	派遣予定 57年 1月
	(日本語) 電気工事	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Industry Zanzibar
(日本語): サンギバル工業省

ロ. 隊員勤務先名称: Jitgemee small scale industries 日本語名称 (サンギバル小規模工場)
所在地: サンギバル 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容: Jitgemee 小規模工場は現在9つの部門があり、年内に4つの部門を新設する予定である。これらの部門に送配電工事の要する業務である。

ニ. 設備概要: 電力248KW/H 3相 50サイクルのモーター1台と、これを用いたエンジン372ガガ1台があるほか、トランスフォーマー 1250 KVA 11000V 2台、配電装置 その他がある。

(2) 隊員の業務内容:

新設工場部門への送配電工事

工場内電気の保守・管理

現地人技術者の養成

電気工学的な分野には現在13名の従業者がいるが、専門的に電気工学を学んだ者は1人(4-7が竣工で4年間学んだ)のみであり、技術者の養成は急務である。

業務に必要なテスト、工具類は不足しているため赴任時に携行する必要があり。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

小規模工場内には多種多様な機械が設置されており、しかし電気の要に応じて稼働していません。しかし、尚ほの場合電気分野の教育機関が少なく、技術者が非常に不足しているのが実態である。本工場も技術者不足からメンテナンスに苦慮しており、何とか隊員の来によって養成して欲しいとの期待も大きいものがある。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○ 電気専門学科卒業生 ○ 実務経験3年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 10月 19日

320 電気工事

調査者氏名 後藤 俊 男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
リベリア	現地公用語) Electric Works	(男) / 人	訓練開始 年 月
	日本語) 電気工事	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Labour, Youth and Sports
(日本語): 労働、青年、スポーツ省

2. 隊員勤務先名称: Monrovia Vocational Training 日本語名称 (モロビア職業訓練所)
所在地: Center Monrovia 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

国庫の援助により、中級技術者育成のための新設職業訓練校

ニ. 設備概要: 現在設置機材の検査中。

(2) 隊員の業務内容:

① 隊員の地位; 教官

② 技術の範囲; 電気工事全般、教材の準備 実技及び一般理論

③ 業務の形態; 職訓において教官として指導に従事する。

④ 対象者及びカウンタ-パート; Assistant Instructor (リベリア)
カウンタ-パートは1名
対象者はセカンド-レベル卒業程度

⑤ 言語; 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

中級技術者育成は急務であり、J.O.C.O.における期待は極めて大きい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

実務経験3年以上、英語堪能

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 3 月 18 日

321 電気機器

調査者氏名 常木繁智

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ル-シア	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 <u>57</u> 年 <u>2</u> 月
	電気機器	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Kementerian Pelajaran
 (日本語): 文部省

□. 隊員勤務先名称: Sekolah Menengah Vokasional 日本語名称 (中等職業訓練学校)
 所在地: Simpang Sanggang, Temerloh, Pahang 主要都市からの距離 (K.Lより148キロ)

ハ. 事業規模及び内容:
中学卒業生を対象に職業訓練をする二年度の学校である。冷凍機器, エレ. エレ. 修理, 電気工事, コンキクリ, 自動車整備, 商業, 各種コ. ン. がある。

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

中学卒業程度の生徒を対象に電気機器を教える事か主として電気工事は少ない(電気工事関係がなくてよい) 但、電気機器に於いて新しい技術を教師へ教えることと101層に授業の進め方について教師と協議。

- 1) 代用教師として電気機器に於いて授業及び技術アドバイザー
- 2) a. 電気機器一般の知識を有していること
 b. 各種モ-ター-コントロール (簡単なル-式からS-イン-ス製御) の設計及び指導が出来ること。また、電子機器を使ったモ-ター-コントロールを教師へ教えることが出来ること。
 c. トランス、電動機の巻線の知識を有している。現地で自分で勉強し生徒へ教えることが出来ること。
- 3) 現在の電気科の教師名と学歴

<u>Chee Pee Koon</u>	<u>1975年 T.T.T.C. 卒</u>
<u>Mohd Yusof b. Ayub</u>	<u>1979年 "</u>
<u>Ramlan b. Zainal Abidin</u>	<u>1980年 "</u>
<u>Nordin b. Harun</u>	<u>1980年 "</u>
- 4) 使用する言語はマ-語
- 5) 現在、エレ. エレ. 材料及び冷凍空調科にJOCVの隊員が一名ずついる。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

当地の教師は実務経験がなく知識は T.T.T.C のときの資料に依存している 実務経験豊かな隊員から進んだ技術を吸収すると共に、職業訓練の授業の仕方について教師へ教えてほしい。また、技術向上のため日本人の勤務実態を学ばせたい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

専ら学校卒業以上、実務経験 2~3年以上。

- ① 電気機器の修理、及びコントロールの知識を有していること。
- ② 電子機器の知識を有していること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 8 月 24 日

321 電気機器

調査者氏名 平沢 昭男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
スリランカ	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) 人	派遣予定 年 月
		(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

- イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Youth Affairs and Employment
(日本語): 青年雇用省
- ロ. 隊員勤務先名称: National Apprenticeship Board 日本語名称 ()
所在地: 4 & 6, Dharmarama Road, Colombo-6 主要都市からの距離 (20km以内) ~~40~~
- ハ. 事業規模及び内容: 年予算 4100万rupee。1971年に出来た政令により翌72年に設立され、
青年一般企業における on-the-job training (4年間) 派遣以後、22名
修了したものには技術修得を証する修了証を発行し就職を促している。
- ニ. 設備概要: Board の事務所は建物だけ。

(2) 隊員の業務内容:

- 1. 業務上の地位: Inspector
- 2. 技術の範囲: 大小モーター、発電機等を主とする電気機器類の修理。特に
巻線の交換や日本では部品と同等のものを替えて修理も、部品を
修理料交付が必要とする。
- 3. 業務の形態: 現在約 100 人の青年がコロンボ周辺の 10~15 の一般企業の工場に
配置され電気関係の技術訓練を受けているが、隊員はこれらの現場を
巡回し、訓練が適正に行なわれているかの確認や、併せて訓練
カリキュラムも検討する。
- 4. カウンタート等: 特定でいる人物は、ないが、IELTK に事とする Inspector は
大学工学部卒業後経験 3 年程度、年齢 25~30 才
- 5. 現地で利用可能な機材: 特になし
- 6. 母国語: ない
- 7. 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: スリランカでは、いかに理論的に知っていても技術面とある
人材が乏しく、この青年達に実際現場で使われる技術と身につけてもらうこと
が、NAB もこの目的のために設立されたもので、今、自由貿易地帯に誘致が
進められている諸企業への卒業生の就職を担っている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):
(大学工学部 電気工学科 卒業 経験 3 年以上) 又は 工学卒 経験 5 年以上
 単車免許

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55年 4月 22日

321 電気機器

調査者氏名 石川 満男

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ケニア	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	(日本語)	(女) / 人	派遣予定 年 月
	(どちらでも可)	人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Higher Education
(日本語): 高等教育省
- ロ. 隊員勤務先名称: The Jomo Kenyatta college of Agriculture & Technology
日本語名称 (注: ケニア農工大学)
所在地: 主要都市からの距離 (首都より 35キロ)
- ハ. 事業規模及び内容: 我国の無償資金協力(約 11億円)及び技術協力により新設される四年制大学 農学部3学科(園芸・農業工学・食品加工), 工学部3学科(機械工学・土木建築・電気), 学生数720名, 教職員120名
- ニ. 設備概要: 建物・内部設備・教機・機材共規模を同じくする我国の大学と同じ水準のものを整備している。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 大学教員 工学部電気工学科
- ② 電・変電工学に關する基礎的理論及び實習指導。
- ③ ケニア人・日本人専門家と全く同様の大学の教員に専門科目を担当
- ④ 学生は K.C.E 以上 (11年以上), 年令 18 才以上
(Kenya certificate of Education 小学校7年中学校4年卒業)
- ⑤ 本邦より贈送した機材(約 11億円)を使用出来る
- ⑥ ケニア人教職員 80名, 日本人専門家 22名
- ⑦ 英語 (講義を全て英語で行うに際し英語に堪能である事が望ましい)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ケニア政府は次4次経済開発54年計画で国内に必要とする技術者の深刻な不足を痛感し、これに対処するため職業技能訓練に重点を置いた教育制度の改革を行って来た。本学はその頂点にあつて今後ケニア人の技術者養成及び社会への供給を担う事が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 大学(電気科)卒業以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56 年 4 月 10 日

321 電気機器

調査者氏名 江畑 義徳

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
タンザニア	(現地公用語)	(男) 1 人	訓練開始 年 月
	ELECTRICAL ENGINEERING (日本語) 電気機器	(女) 人 (どちらでも可) 人	派遣予定 年 月 受入期限 57 年 4 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

MINISTRY OF ANIMAL HUSBANDRY.

1. 配属先名称 (現地公用語): TANZANIA LIVESTOCK DEVELOPMENT AUTHORITY (L.I.D.A.)
(日本語): 畜産省 畜産開発公社.

2. 隊員勤務先名称: TANZANIA DAIRIES LTD. MBEYA 日本語名称 (タンザニア乳牛公社. ムベヤ支店)
所在地: MBEYA (T.D.L.) 主要都市からの距離 (より キロ)

3. 事業規模及び内容: T.D.L は L.I.D.A の配下にあるが各地区に 74 所の支店を持ち、そのうちの地域の特産を生かして、乳製品の生産販売している。ムベヤ支店は全従業員 40 名、ミルクを生産し、ミルクは日産 5,000 L である。ムベヤ支店は他の支店より規模は大きくなく、設備も少ない。
4. 設備概要: フォーマー製パン-製造機 1 台、スライスソーサー 1 台、冷庫 (大型)、電動機、等
5. パン-製造の大型設備は小規模なので揃っていない。

(2) 隊員の業務内容:

- ① 隊員の業務上の地位……電気関係部門の長 (チーフ エンジニア)
- ② 技術の範囲……現在、ムベヤ支店には一人の技術者がいない。故障等困難な業務は他の支店の技術者が来る時に任せている。
配電盤、自家発電機、乳製品製造機等の日常のメンテナンスの他に、現地人エンジニアへの技術アドバイスを積極的に行なう。
将来、ソーサントの製造も始めようとしている。
- ③ 処遇・ポイント等……県内技術者待遇として (GRAD 5 保持) の。その技術力は低い。
年給は 25.6 万。
- ④ 利用すべき機械……簡単な工具類、テスタ、鉛筆削り
- ⑤ 英語圏人……無
- ⑥ 使用する言語……スワヒリ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

T.D.L の各支店には自動車整備、電気関係隊員の新規要請隊員を含む、6 名しかおらず、その協力活動は高く評価されている。また、将来、他の支店からの要請も考えられる。ムベヤ支店には今回の始末の準備であるが、マネージャーは電気関係部門のチーフとして担当期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 薬師学校 (短大卒) 卒
- 電気工学士
- 実務経験 2-4 年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 55 年 9 月 10 日

321 電気機器

調査者氏名 新田 慶子

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
マラウイ	(現地公用語) Mechanical	(男) 人	訓練開始 年 月
	Electrical supervisor	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語) 電気機器	(どちらでも可) 3 人	受入期限 55 年 10 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture & Natural Resources
(日本語): 農業天然資源省

ロ. 隊員勤務先名称: Department of Forestry 日本語名称 (森林局)
所在地: 主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容:

- 。製材所・及び木工所の電気・機械類の保守・整備
- 。現地人カウンターパートの指導
- 。業務計画及び機械類の電気回路図の作成
- 。ワークショップの運営

。使用言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 専門学校卒 ② 実務経験 2 年以上

。水力学・気学及び電気のコントロール・システムの知識のあり者

52-016-2
52. 5. 25

日本青年海外協力隊派遣受入希望調査表

321 電気機器

記入昭和 52 年 5 月 20 日

調査者氏名 梶田 武司

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
フィリピン	(現地公用語) ELECTRICAL	(男) / 人	訓練開始 年 月
	INSTALLATIONS	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語) 電気機器	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

イ. 配属先名称 (現地公用語): MINISTRY OF LABOR

(日本語): 労働省

ロ. 隊員勤務先名称: TRADE TESTING CENTER

日本語名称 (技能試験所)

所在地: リソンガ

主要都市からの距離 (より キロ)

ハ. 事業規模及び内容:

ニ. 設備概要:

(2) 隊員の業務内容: 1. 別添シバスのとおり、電気機器に関し理論、技術両面にわたり技能試験を実施する。
2. 電気機器技能試験官の訓練。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 過去に於ては労働省に人材不足の為、当該技能試験は JOLITEX 等、工業補助員に充てられていた。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと) ① 工学部 機械工学科卒
② 技術英語 (テクニカル・ワード) に完熟し、かつ英語による講義ができること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入昭和 56年 2月 18日

321 電気機器

調査者氏名 伊藤 英明

受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
西サモア	(現地公用語)	(男) / 人	訓練開始 年 月
	Electrical Engineering	(女) 人	派遣予定 年 月
	(日本語) 電気工学	(どちらでも可) 人	受入期限 年 月迄に現地到着のこと

(1) 配属先

1. 配属先名称 (現地公用語): Education Department

(日本語): 文部省

2. 隊員勤務先名称: Western Samoa Technical Institute (技術高等職業訓練校)

所在地: Vaivase, Apia

(日本語名称) 主要都市からの距離 (Apiaより5キロ)

3. 事業規模及び内容: 1963年に設立された西サモア唯一の職業訓練校であり、生徒数170名(1年生:100名, 2年生70名)。訓練科目は、電気工学、自動車整備、工作科、溶接、板金、屋内配管、木工、商業コース等である。

4. 設備概要: 日本の中程度の職業訓練校(中)と同水準の設備を有する。

(2) 隊員の業務内容: 1年生の専攻コースを履修した2年生を対象に、電気に関する一般理論

と講義のS.W.に7-7. ショップの实践(実習)指導を行う。

① 業務上の地位: 教官 (Instructor)

② 技術の範囲: 上記の通りである。具体的には、直流、交流、誘導子、インデンサー、電線、回路、変圧器等の理論のS.W.に各種計器測定実習等。屋内配線を中心とする。

③ 業務の形態: I.V.の外コース関連の授業はない。

④ 対象者: サモア人教官2名の共同講義のS.W.に実習指導。教室型。

⑤ 利用可能な教材: 工具類、ノート類、計器類等が不足。またV.I.も、満足に作製できるものはほとんどない。現在、7-7. ショップの新設中であり、UNDP、カナダ政府より、それぞれUS\$5,000及びUS\$10,000の援助が受入されている。

⑥ 外国人及び日本専門家: ニュージーランド1名、PRリカ平部部隊4名、国連平部部隊3名、協力隊3名。

⑦ 使用言語: 英語。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 西サモアに於ては、いわゆる普通教育が重視され、「職業訓練」というものは、長年、無視されてきたが、近年に入り、技術教育の重要性が認識され、政府の次期5年計画において、この分野が大々取り扱われる結果、進んでいる。同校の生徒は、年々増大にきている。現在、S.W.の各種教材の不足に悩まされており、協力隊には、この面への支援が期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

○大学卒。○英語の授業が出来ること。教師としての経験は向かない。